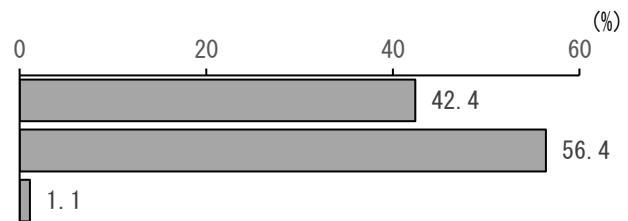


第2章 調査結果の詳細

1. あなた自身のことについて

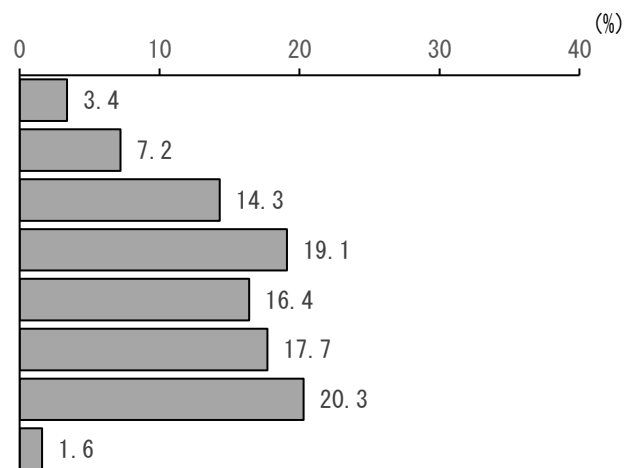
(1) 性別

	基数	構成比
男	628	42.4%
女	835	56.4%
無回答	17	1.1%
全 体	1,480	100.0%



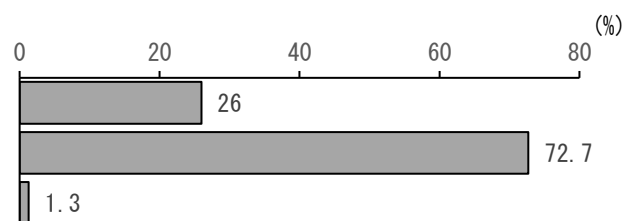
(2) 年齢

	基数	構成比
10歳代	51	3.4%
20歳代	107	7.2%
30歳代	211	14.3%
40歳代	282	19.1%
50歳代	243	16.4%
60歳代	262	17.7%
70歳以上	300	20.3%
無回答	24	1.6%
全 体	1,480	100.0%



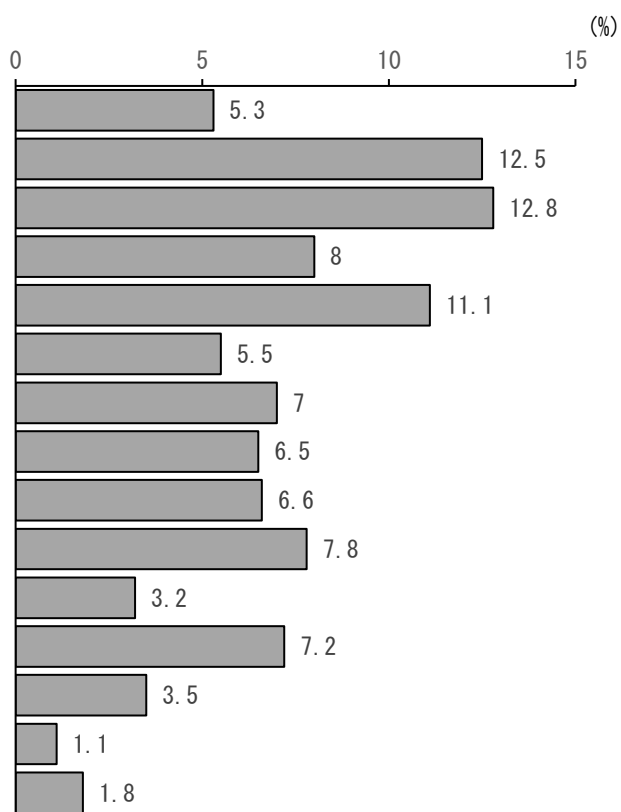
(3) 婚姻状況

	基数	構成比
独身	385	26.0%
既婚	1,076	72.7%
無回答	19	1.3%
全 体	1,480	100.0%



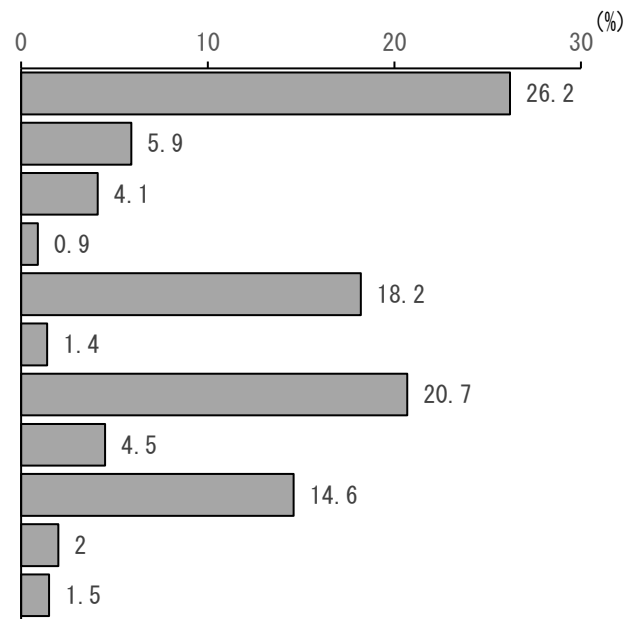
(4) 居住地区

	基数	構成比
片瀬	78	5.3%
鵜沼	185	12.5%
辻堂	190	12.8%
村岡	119	8.0%
藤沢	165	11.1%
明治	81	5.5%
善行	104	7.0%
湘南大庭	96	6.5%
六会	97	6.6%
湘南台	116	7.8%
遠藤	48	3.2%
長後	107	7.2%
御所見	52	3.5%
わからない	16	1.1%
無回答	26	1.8%
全 体	1,480	100.0%



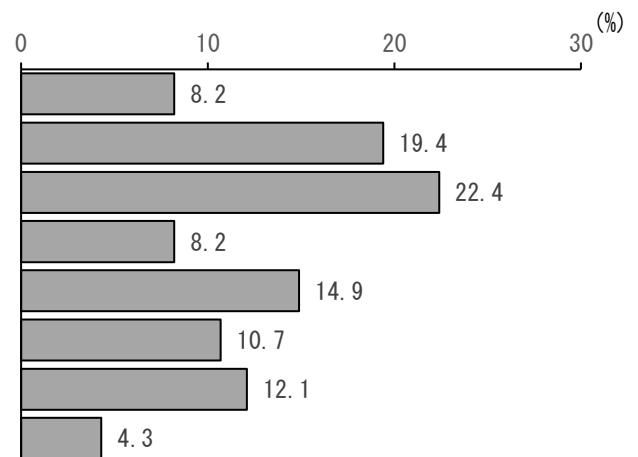
(5) 職業

	基数	構成比
会社員	388	26.2%
自営業・家族従業者	87	5.9%
公務員	60	4.1%
団体職員	13	0.9%
派遣・契約社員、 パートタイム従業者、アルバイト	270	18.2%
会社役員・団体役員	21	1.4%
主婦・主夫	307	20.7%
学生	67	4.5%
無職(主婦/主夫、学生を除く)	216	14.6%
その他	29	2.0%
無回答	22	1.5%
全 体	1,480	100.0%



(6) 世帯全体の年間収入

	基数	構成比
150万円未満	121	8.2%
150万円以上～300万円未満	287	19.4%
300万円以上～500万円未満	331	22.4%
500万円以上～600万円未満	121	8.2%
600万円以上～800万円未満	220	14.9%
800万円以上～1,000万円未満	158	10.7%
1,000万円以上	179	12.1%
無回答	63	4.3%
全 体	1,480	100.0%

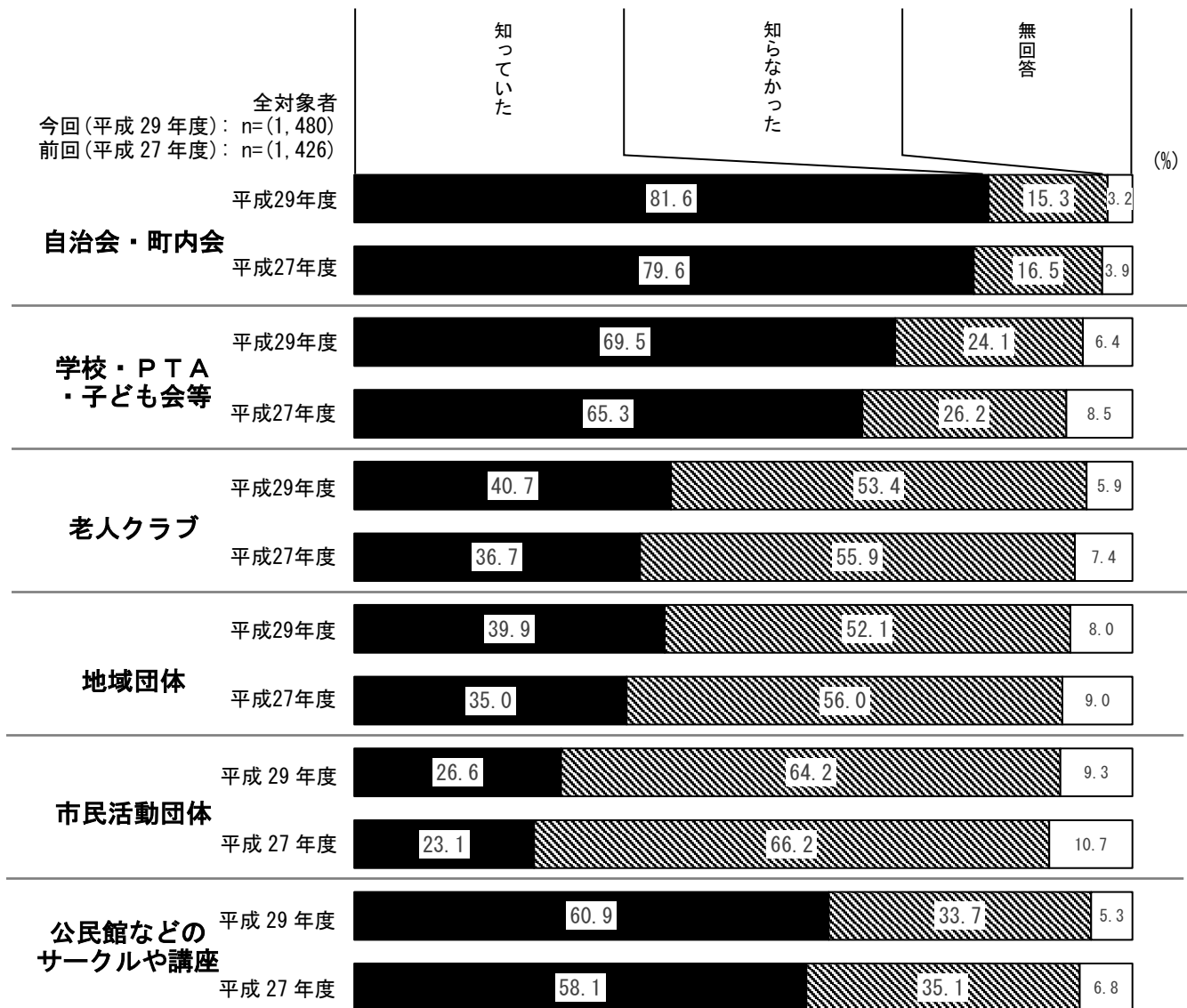


2. 地域活動について

(1) 地域活動の周知状況

問2-1 次の地域活動のうち、このアンケートが届く前からその活動の存在を知っていたかどうかをお選びください。(一つに〇)

【図表1：地域活動の周知状況】

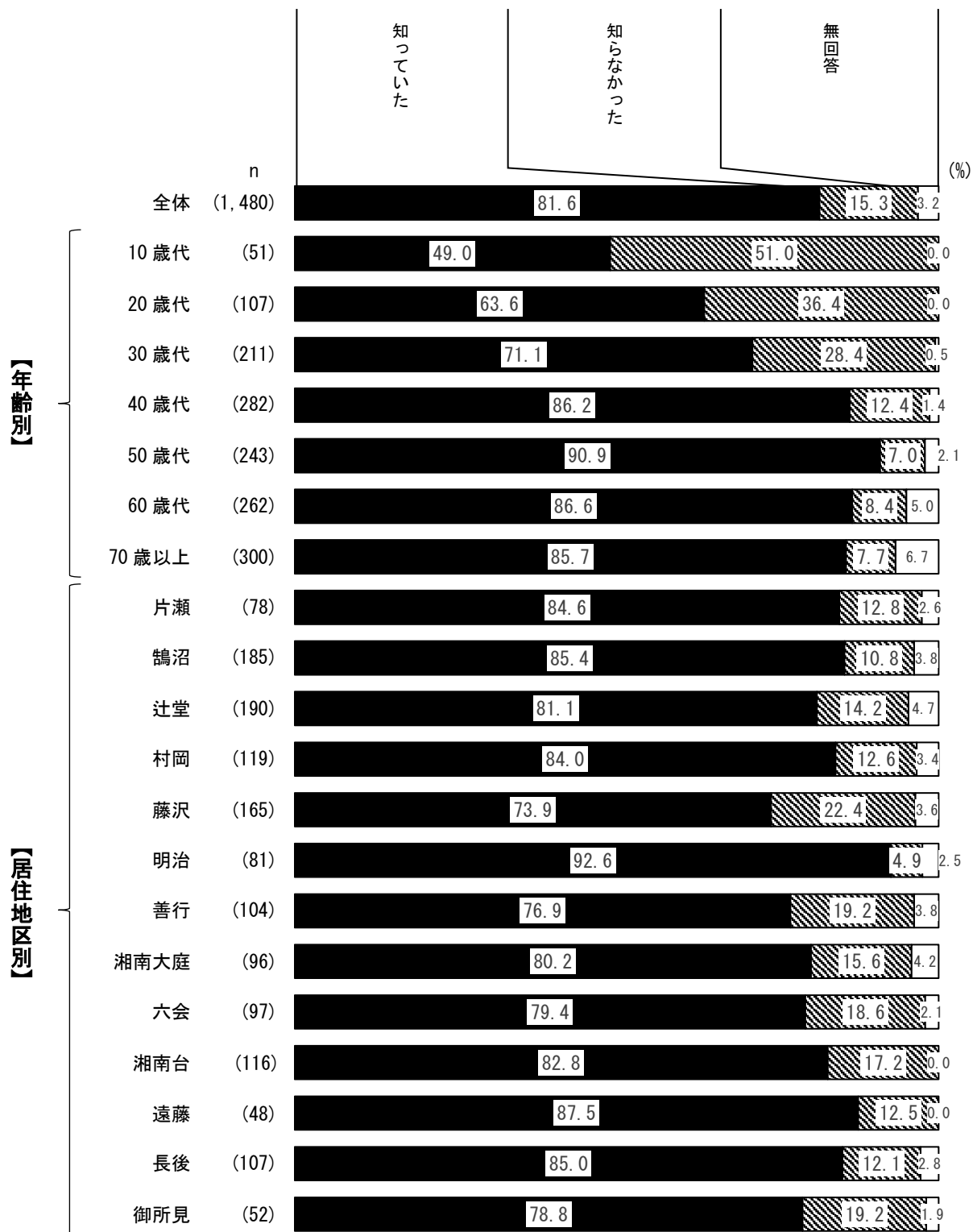


地域活動の周知状況について、「知っていた」割合は「自治会・町内会」が81.6%と最も高く、次いで、「学校・PTA・子ども会等」(69.5%)、「公民館などのサークルや講座」(60.9%)の順となっている。

一方、「市民活動団体」については64.2%が「知らなかった」とし、「老人クラブ」(53.4%)、「地域団体」(52.1%)も、「知らなかった」が5割を超えている。

なお、前回調査(平成27年度)と比較すると、いずれの地域活動についても「知っていた」割合が増えている。

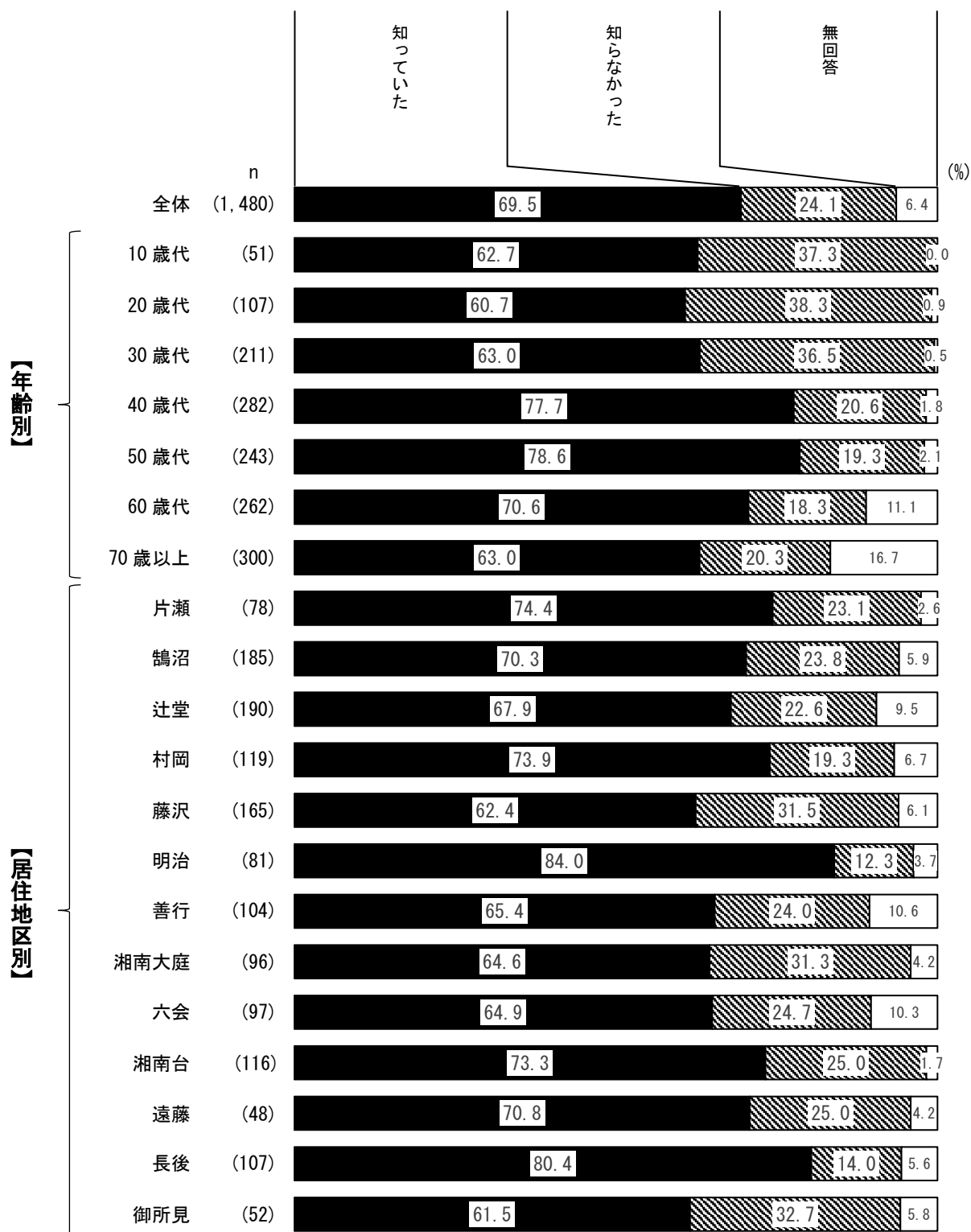
【図表2：年齢別・居住地区別／地域活動の周知状況①】自治会・町内会



「知っていた」の割合を年齢別にみると、おおむね年代が上がるにつれて高くなる傾向があり、50歳代が90.9%と最も高くなっている。

居住地区別では、明治（92.6%）、遠藤（87.5%）、鶴沼（85.4%）、長後（85.0%）、片瀬（84.6%）などで「知っていた」割合が高くなっている。

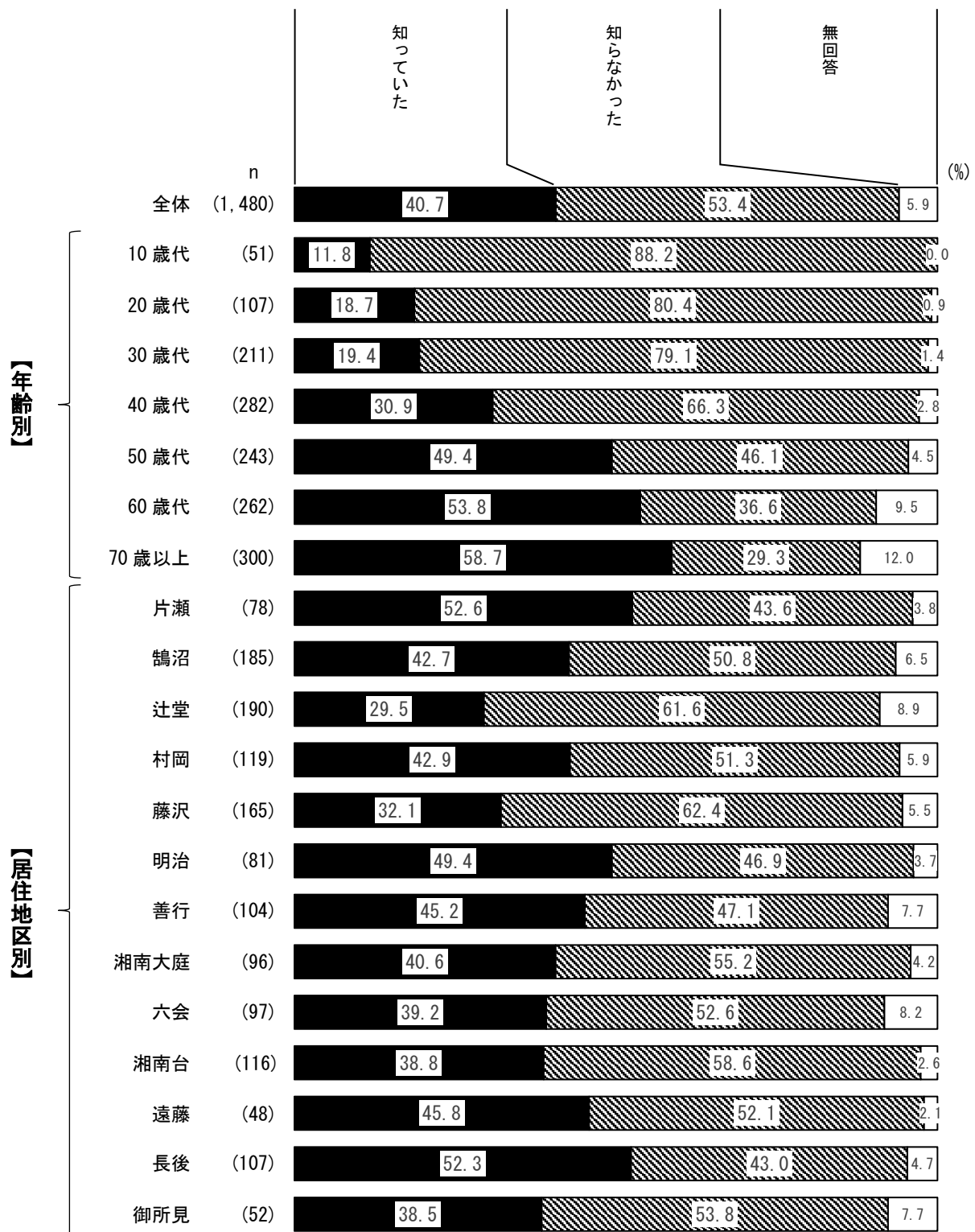
【図表3：年齢別・居住地区別／地域活動の周知状況②】 **学校・PTA・子ども会等**



「知っていた」の割合を年齢別にみると、40歳代（77.7%）と50歳代（78.6%）が8割近く、次いで60歳代が70.6%となっている。

居住地区別では、明治（84.0%）、長後（80.4%）で「知っていた」割合が8割以上となっている。

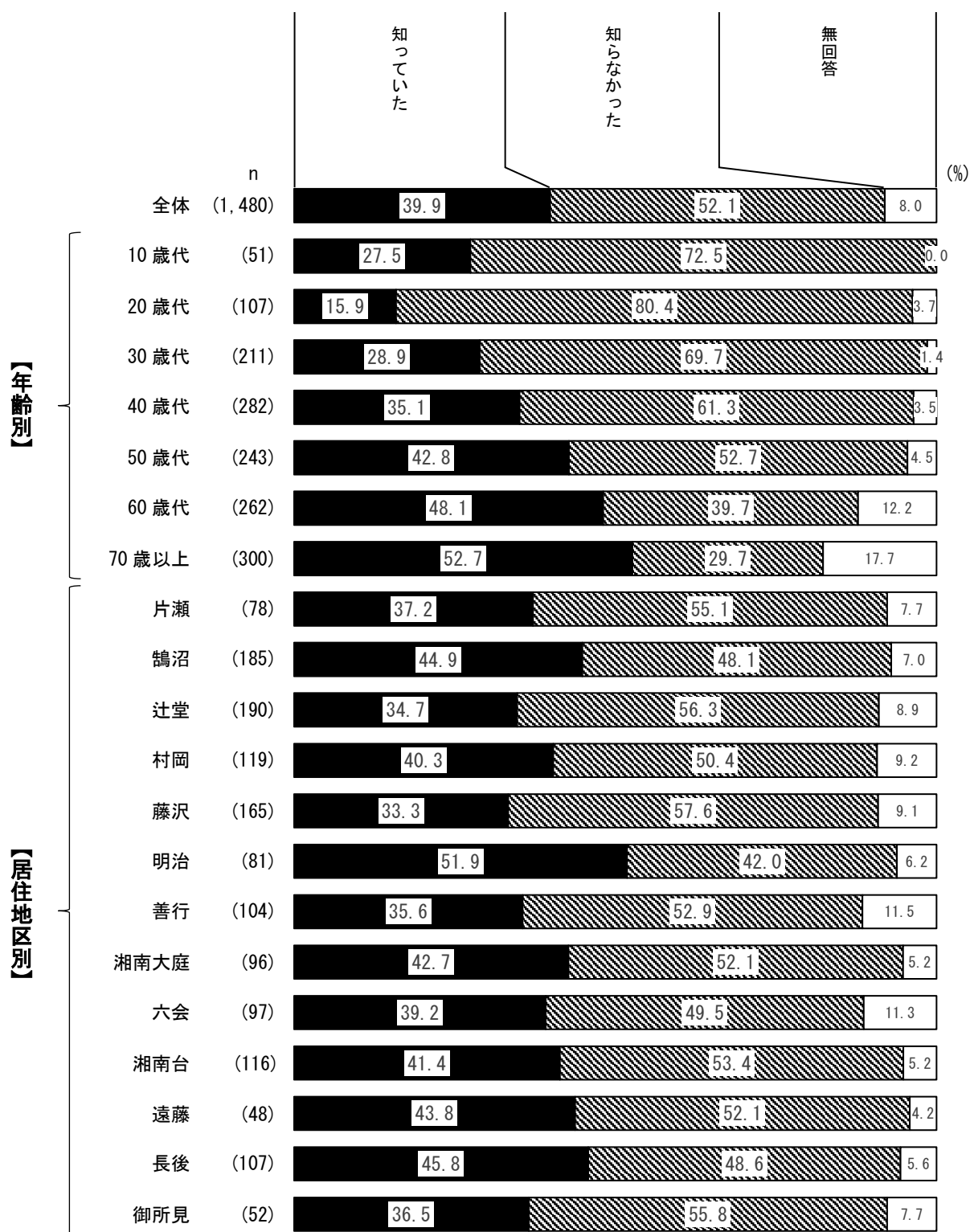
【図表4：年齢別・居住地区別／地域活動の周知状況③】老人クラブ



「知っていた」の割合は、年代が上がるにつれて高くなり、70歳以上で58.7%、60歳代で53.8%となっている。

居住地区別では、片瀬（52.6%）、長後（52.3%）で「知っていた」割合が5割以上となっている。

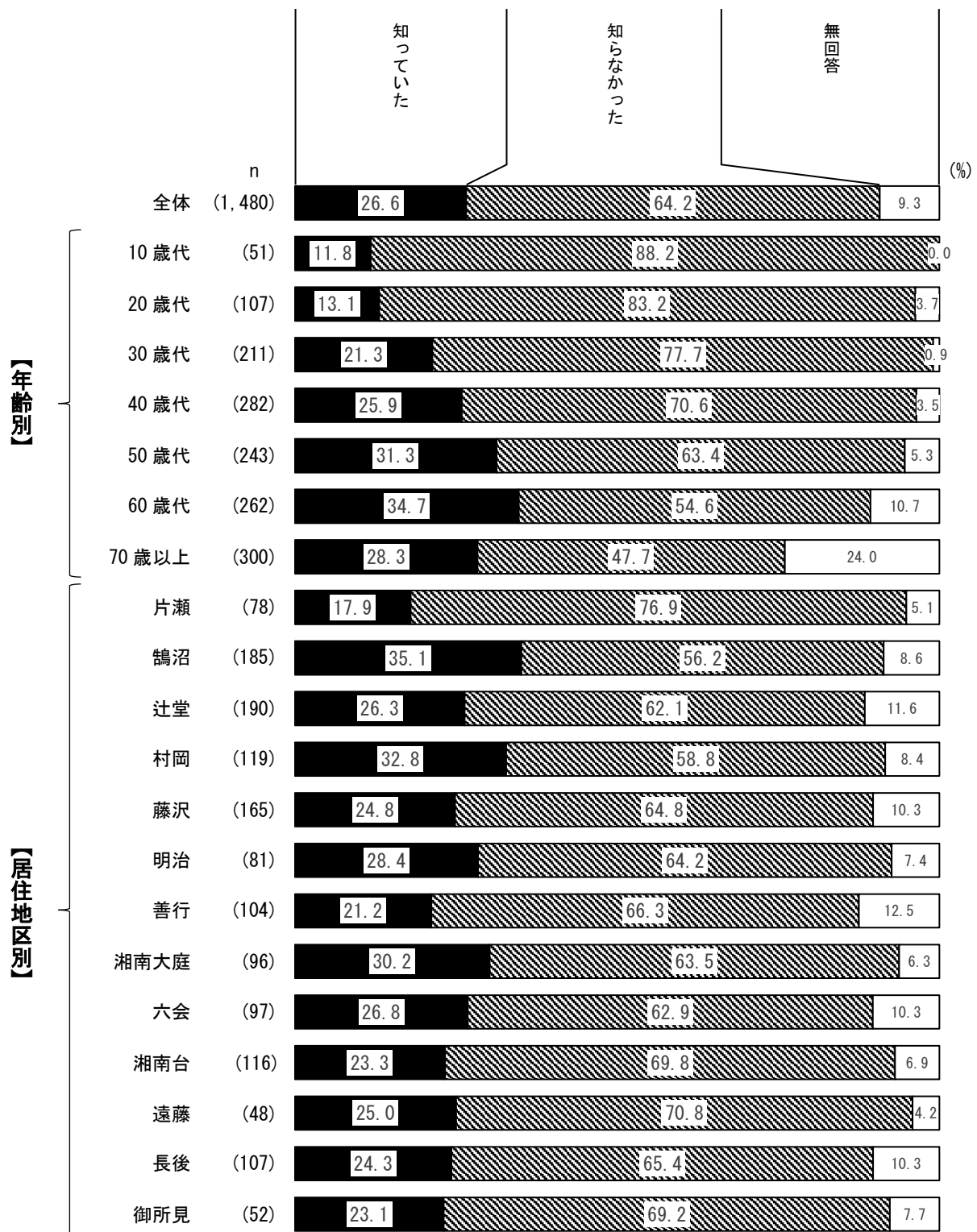
【図表5：年齢別・居住地区別／地域活動の周知状況④】地域団体



「知っていた」の割合を年齢別にみると、70歳以上（52.7%）が5割を超え、次いで、60歳代（48.1%）、50歳代（42.8%）の割合が高くなっている。

居住地区別では、明治（51.9%）のみ「知っていた」割合が5割を超え、次いで、長後（45.8%）、鶴沼（44.9%）、遠藤（43.8%）等で「知っていた」割合が高くなっている。

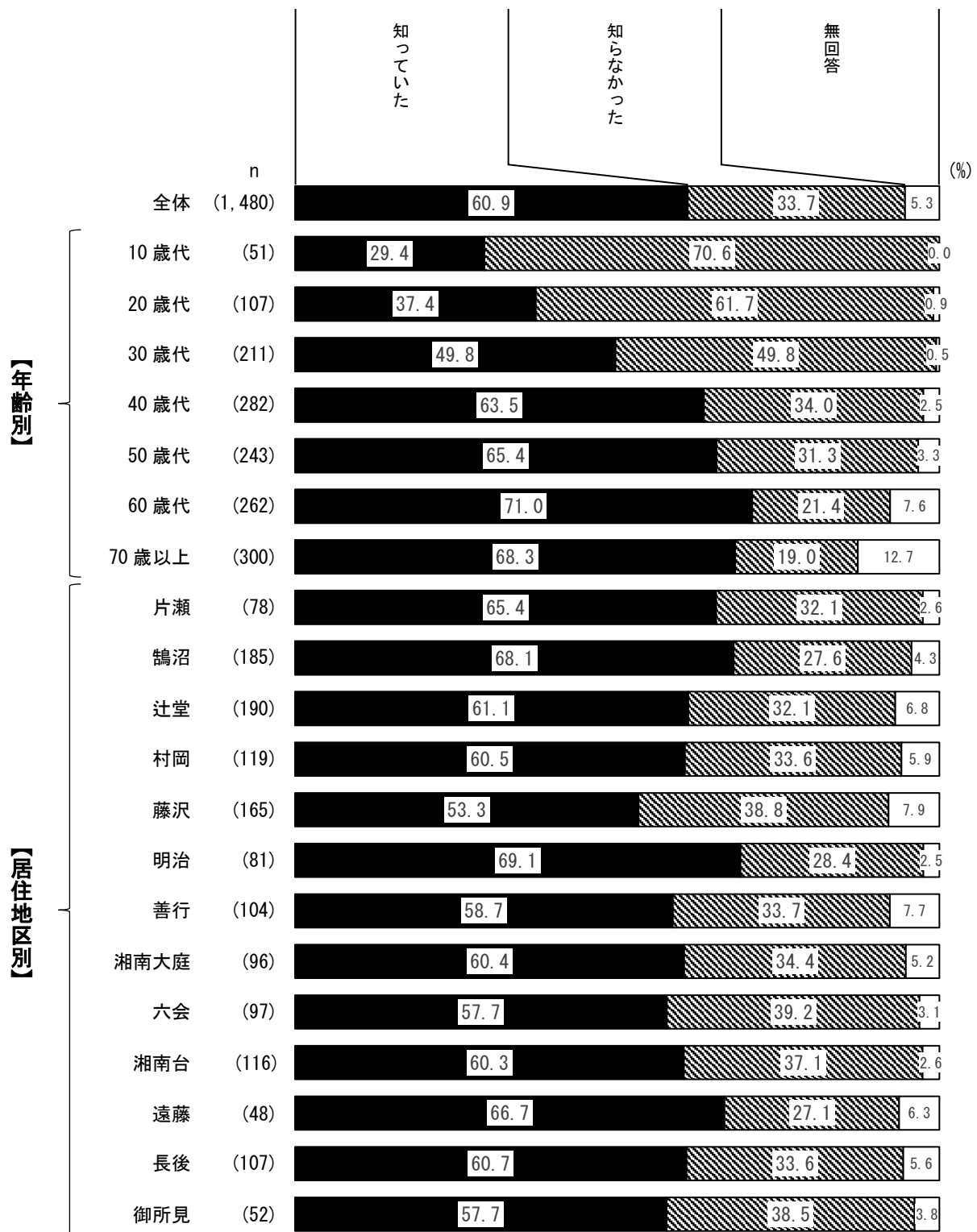
【図表6：年齢別・居住地区別／地域活動の周知状況⑤】市民活動団体（NPOを含む）



「知っていた」の割合を年齢別にみると、60歳代（34.7%）と50歳代（31.3%）で3割を超えている。

居住地区別では、鶴沼（35.1%）、村岡（32.8%）、湘南大庭（30.2%）で「知っていた」割合が3割以上と高くなっている。

【図表7：年齢別・居住地区別／地域活動の周知状況⑥】 公民館などのサークルや講座



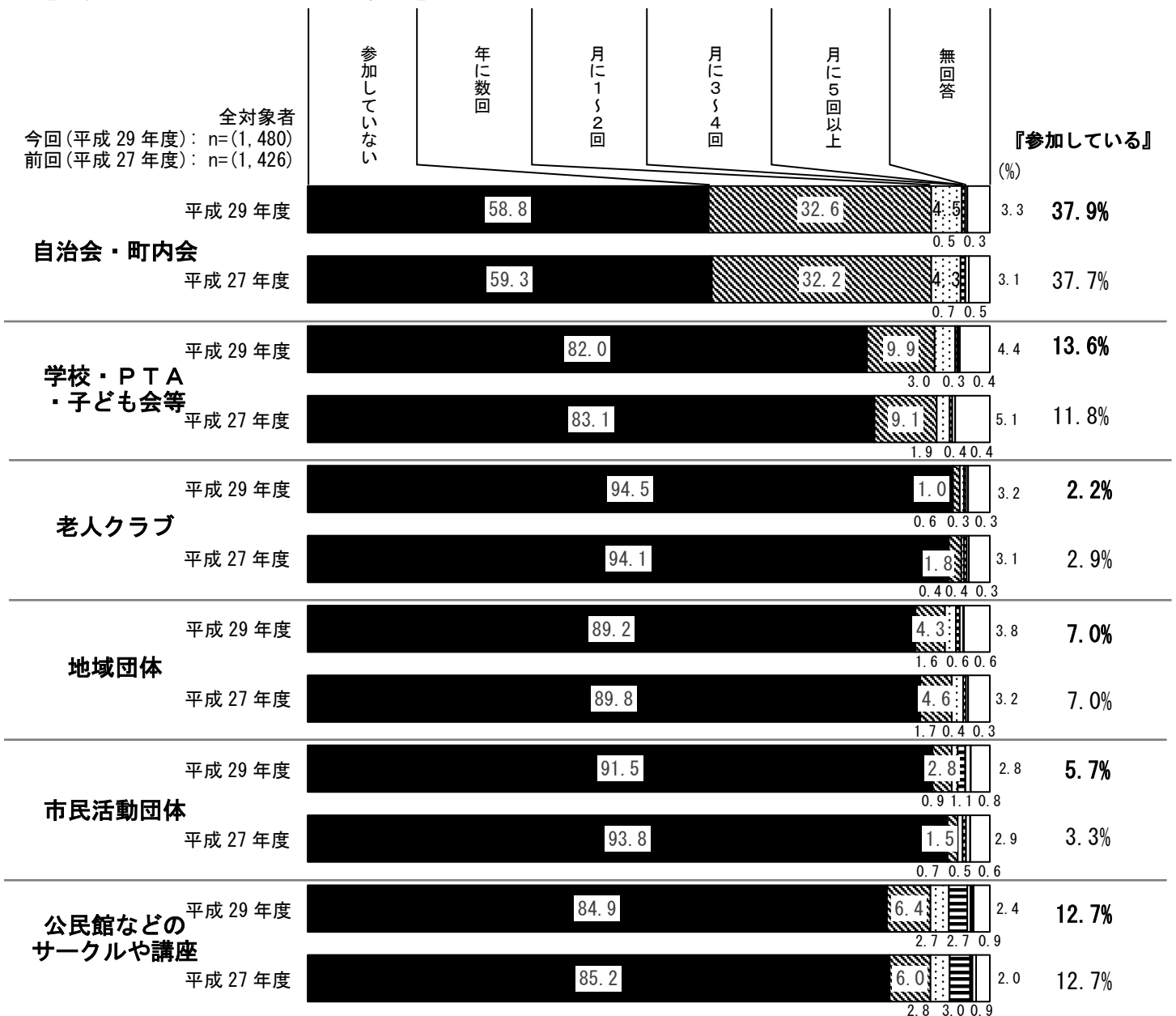
「知っていた」の割合を年齢別にみると、おおむね年代が上がるにつれて高くなる傾向となり、60歳代が71.0%と最も高くなっている。

居住地区別では、明治（69.1%）、鶴沼（68.1%）、遠藤（66.7%）、片瀬（65.4%）などで「知っていた」割合が高くなっている。

(2) 地域活動への参加の頻度と参加理由

問2-2 あなたの地域活動への参加の頻度をお選びください。(一つに○)
 また、参加の理由についてお選びください。(あてはまるものすべてに○)

【図表8：地域活動への参加の頻度】



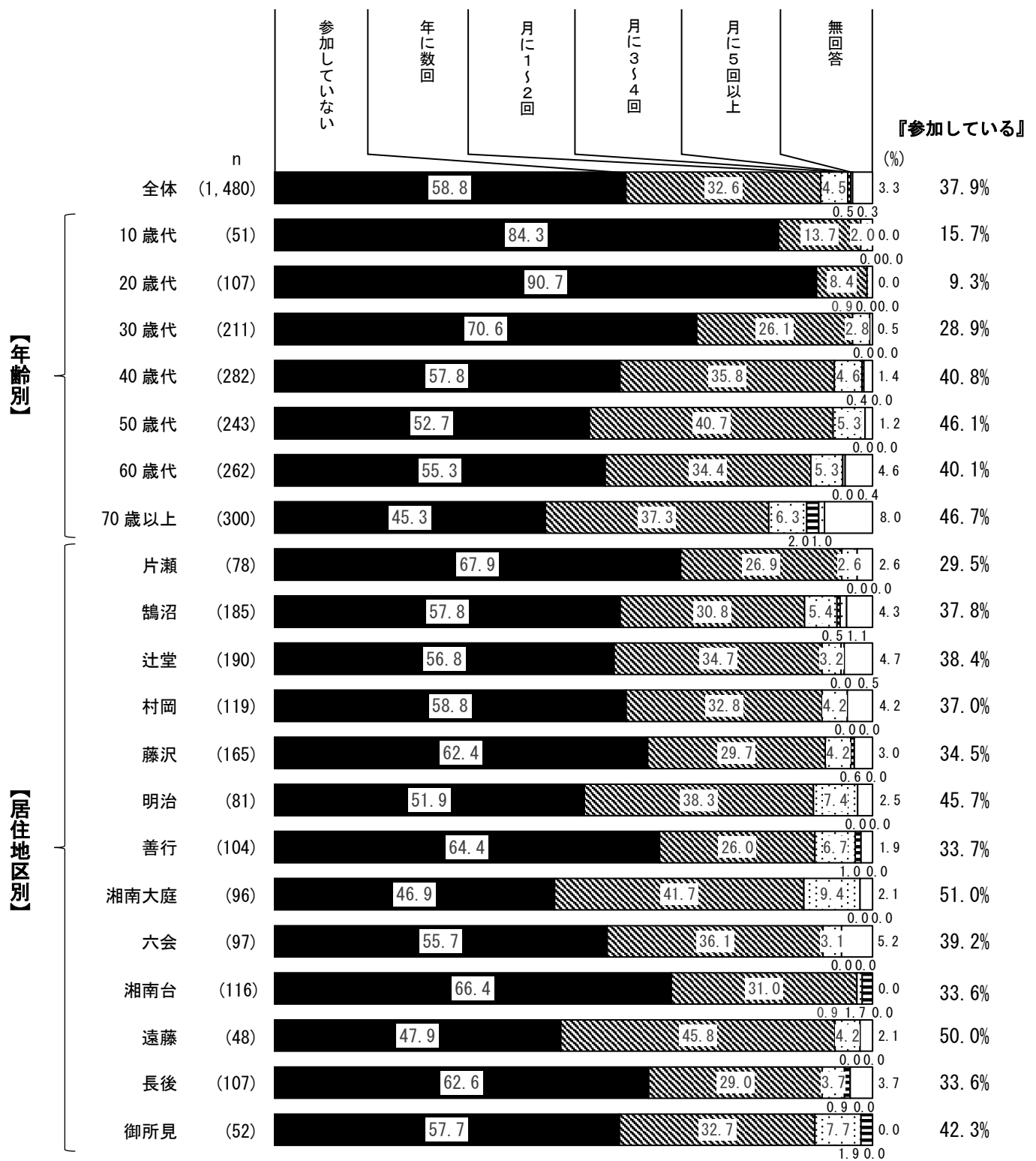
※『参加している』の数値は「年に数回」「月に1~2回」「月に3~4回」「月に5回以上」の合計値である。

地域活動への参加状況について、「月に5回以上」「月に3~4回」「月に1~2回」「年に数回」を合わせた『参加している』割合は「自治会・町内会」が37.9%で最も高いものの、「参加していない」は6割近くとなっている。

それ以外の活動について、「参加していない」割合が最も高いのは「老人クラブ」(94.5%)で、次いで「市民活動団体」(91.5%)、「地域団体」(89.2%)、「公民館などのサークルや講座」(84.9%)、「学校・PTA・子ども会等」(82.0%)の順となっている。

なお、前回調査(平成27年度)から大きな変化はみられない。

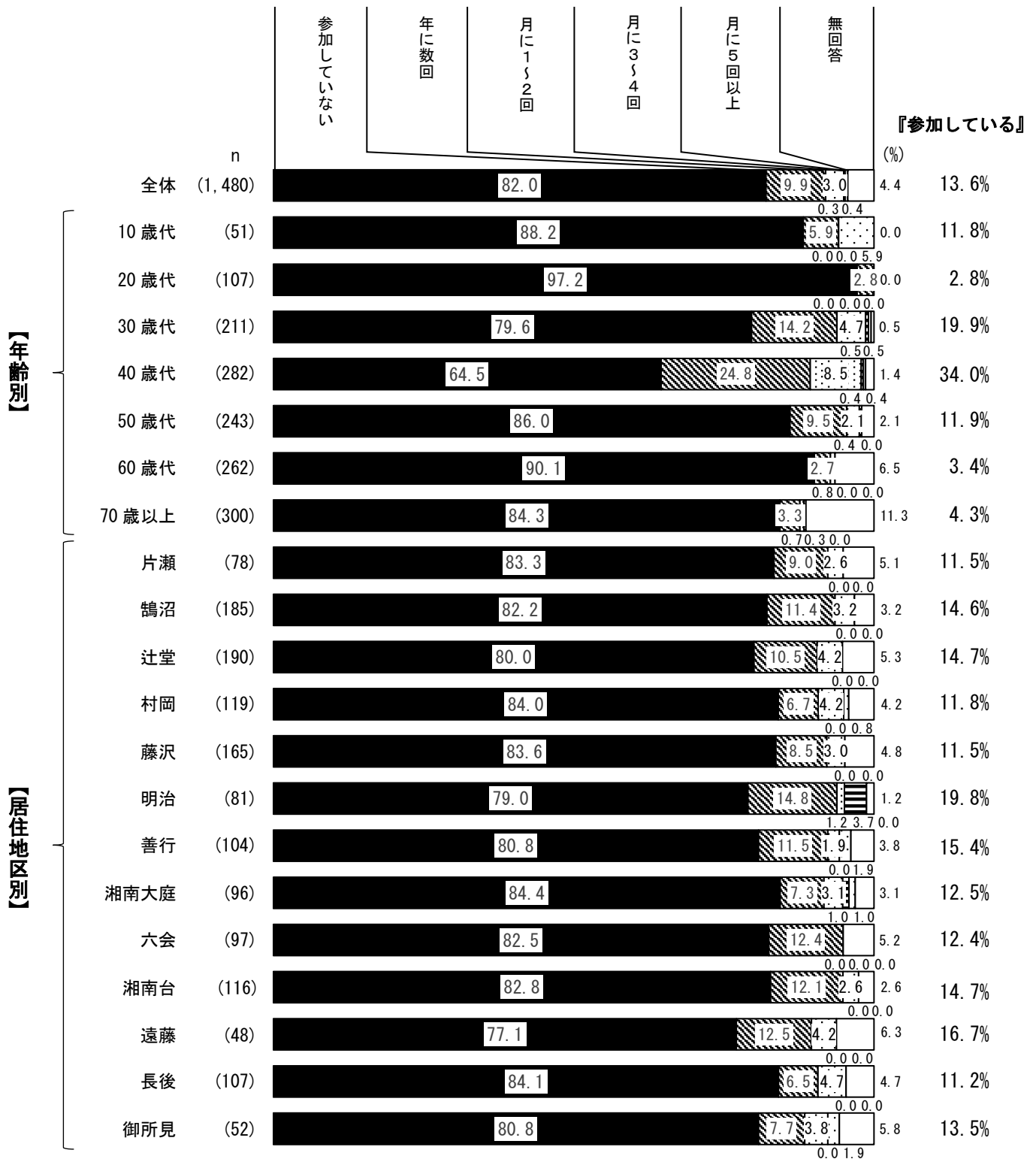
【図表9：年齢別・居住地区別／参加の頻度①】自治会・町内会



『参加している』割合を年齢別にみると、70歳代以上（46.7%）や50歳代（46.1%）で割合が高くなっている。一方、「参加していない」割合は、20歳代（90.7%）や10歳代（84.3%）で高くなっている。

居住地区別に『参加している』割合をみると、湘南大庭（51.0%）、遠藤（50.0%）などで高い一方、「参加していない」割合は、片瀬（67.9%）や湘南台（66.4%）などで高くなっている。

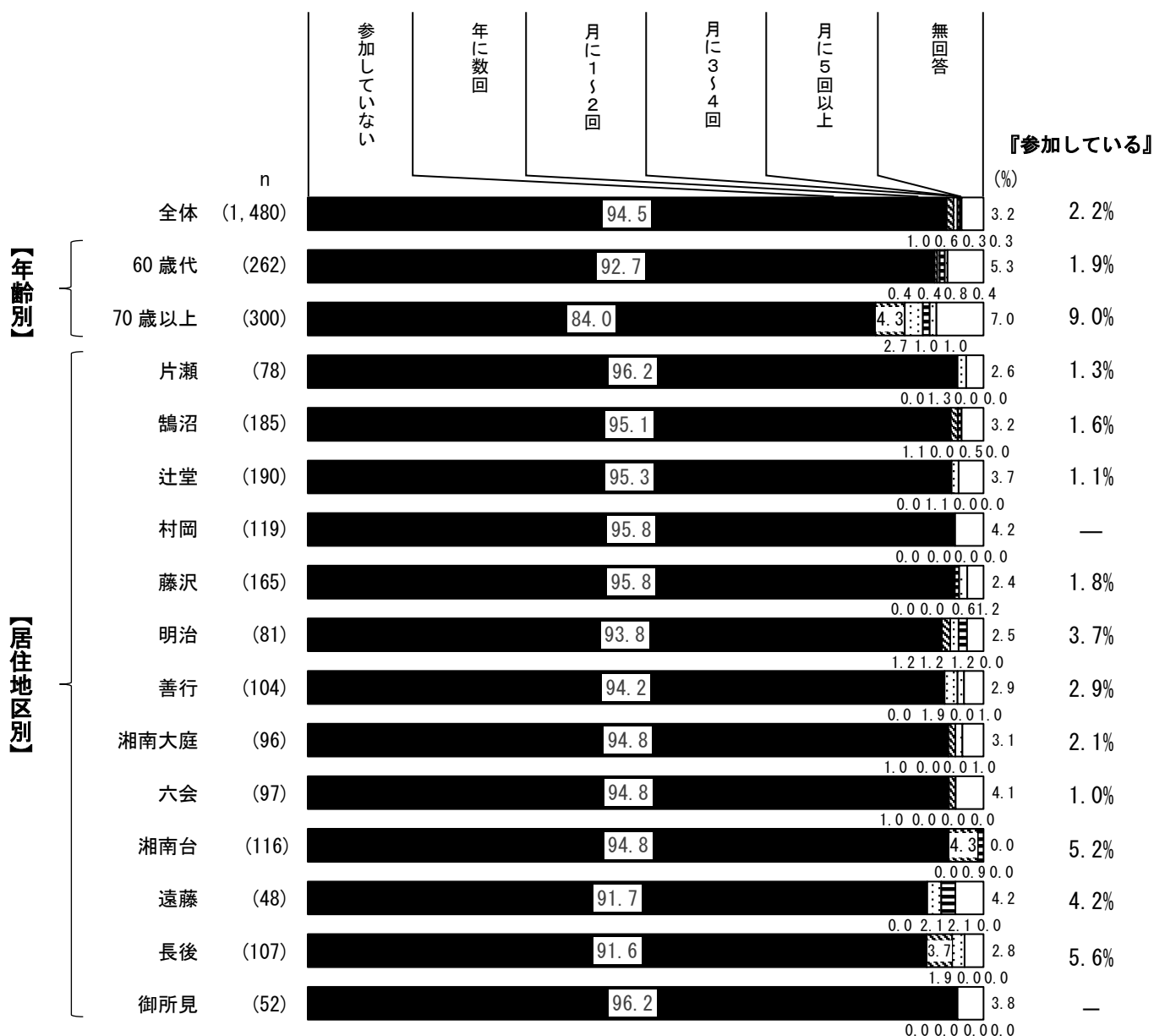
【図表10：年齢別・居住地区別／参加の頻度②】 **学校・PTA・子ども会等**



『参加している』割合を年齢別にみると、40歳代（34.0%）で割合が高くなっている。一方、「参加していない」割合は、20歳代（97.2%）や60歳代（90.1%）で高くなっている。

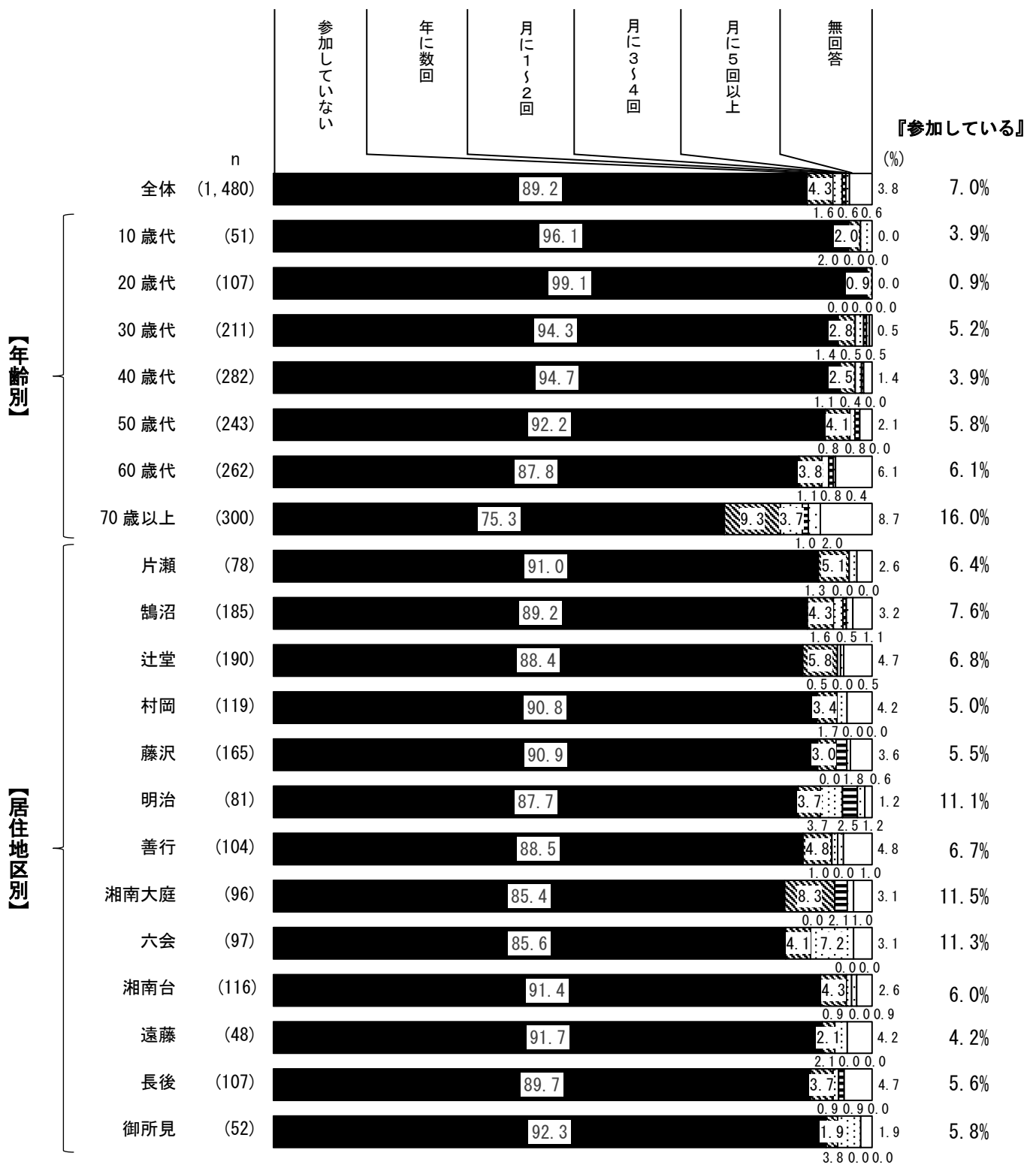
居住地区別に『参加している』割合をみると、明治（19.8%）、遠藤（16.7%）などで比較的高い。

【図表 1 1 : 年齢別・居住地区別／参加の頻度③】老人クラブ



年齢別では、70歳代以上の『参加している』割合は9.0%、60歳代は1.9%となっている。
 居住地区別の『参加している』割合は、長後（5.6%）、湘南台（5.2%）などで比較的高い。

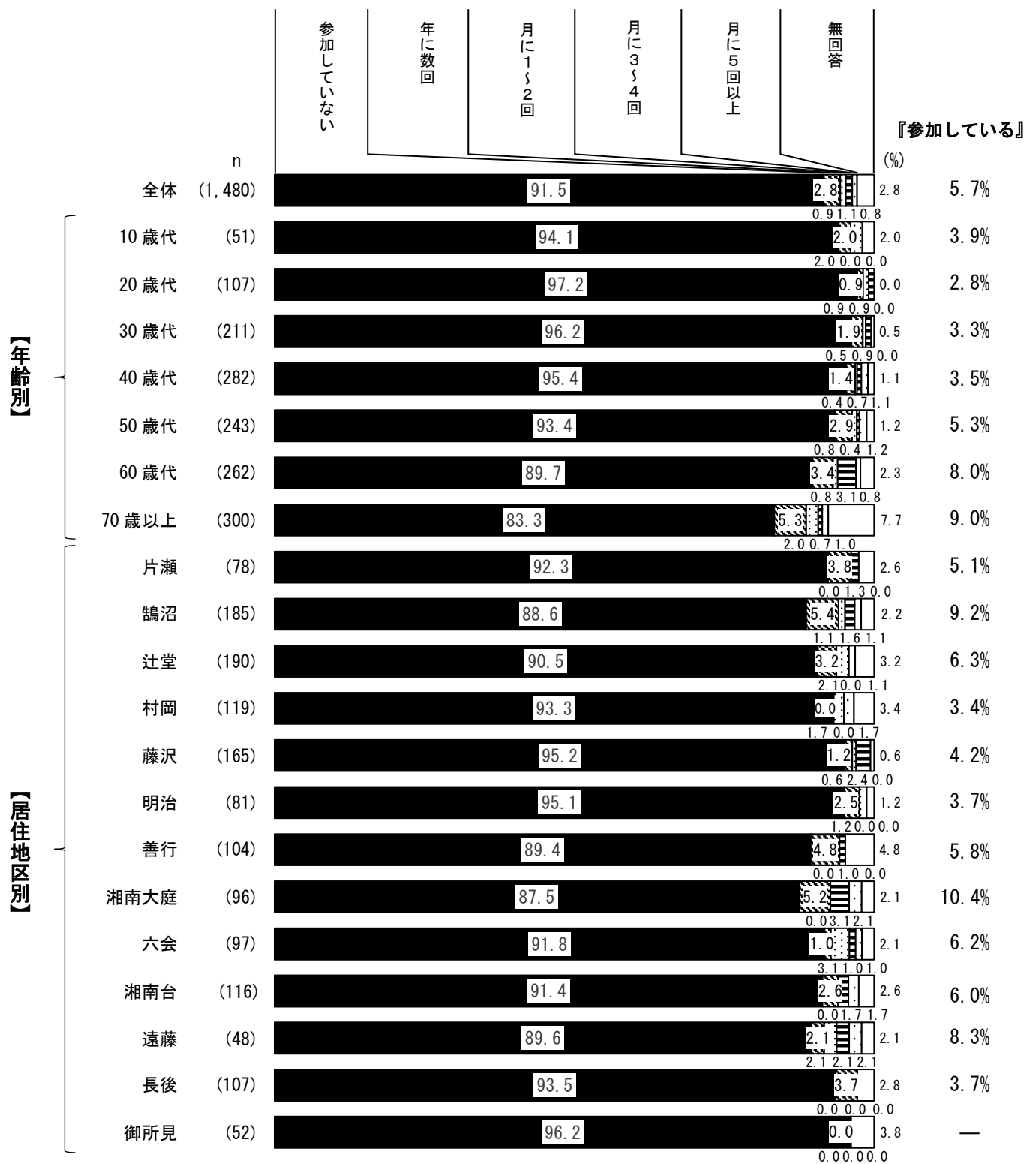
【図表12：年齢別・居住地区別／参加の頻度④】地域団体



『参加している』割合を年齢別にみると、70歳代以上が16.0%と高くなっている。一方、「参加していない」割合は、20歳代が99.1%と非常に高くなっている。

居住地区別に『参加している』割合をみると、湘南大庭（11.5%）、六会（11.3%）、明治（11.1%）などで高い一方、「参加していない」割合は、御所見（92.3%）や遠藤（91.7%）などで高くなっている。

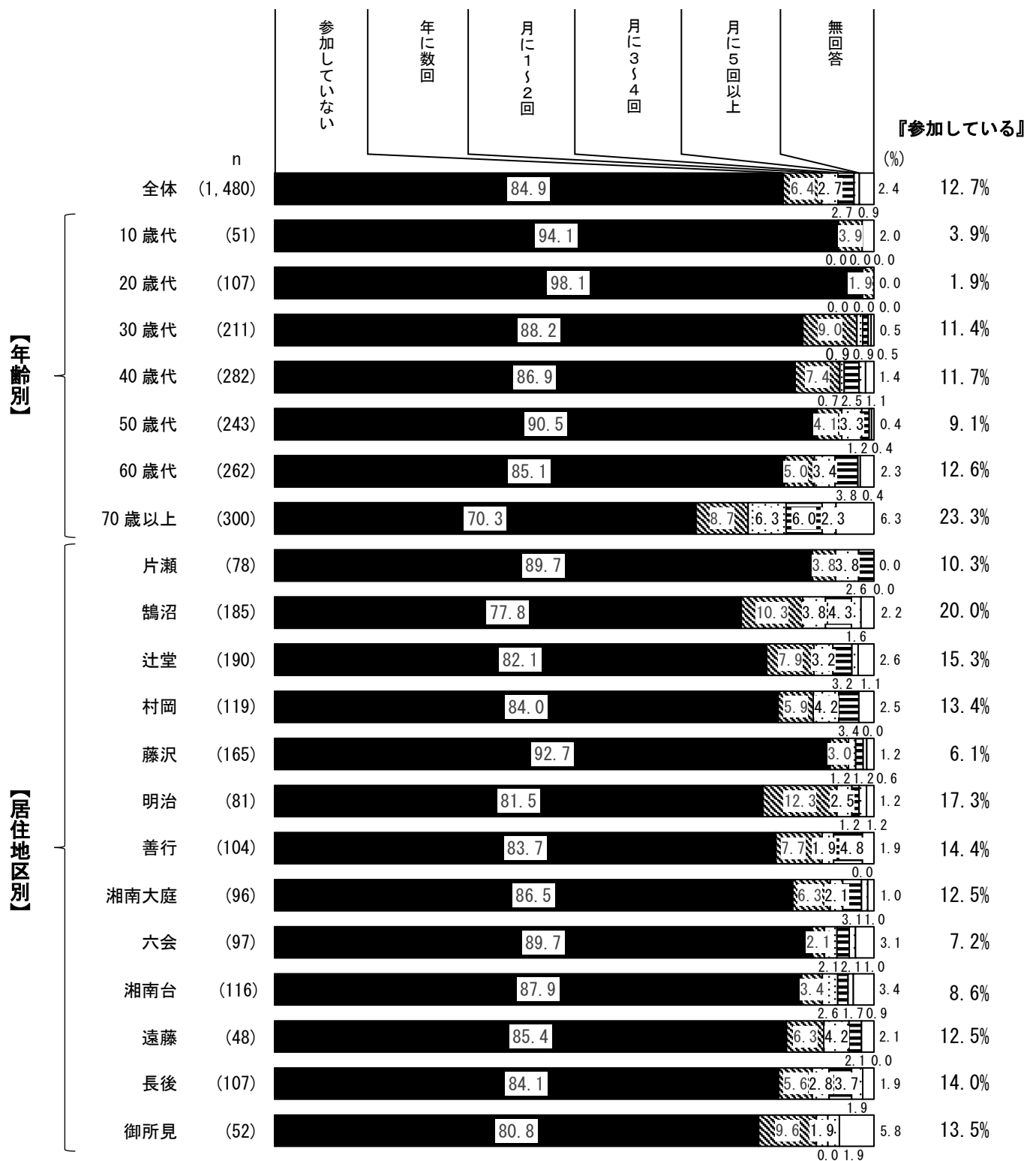
【図表13：年齢別・居住地区別／参加の頻度⑤】市民活動団体（NPO含む）



『参加している』割合を年齢別にみると、70歳代以上（9.0%）や60歳代（8.0%）で割合が高くなっている。一方、「参加していない」割合は、20歳代（97.2%）、30歳代（96.2%）で高くなっている。

居住地区別に『参加している』割合をみると、湘南大庭（10.4%）、鵜沼（9.2%）などで高くなっている。

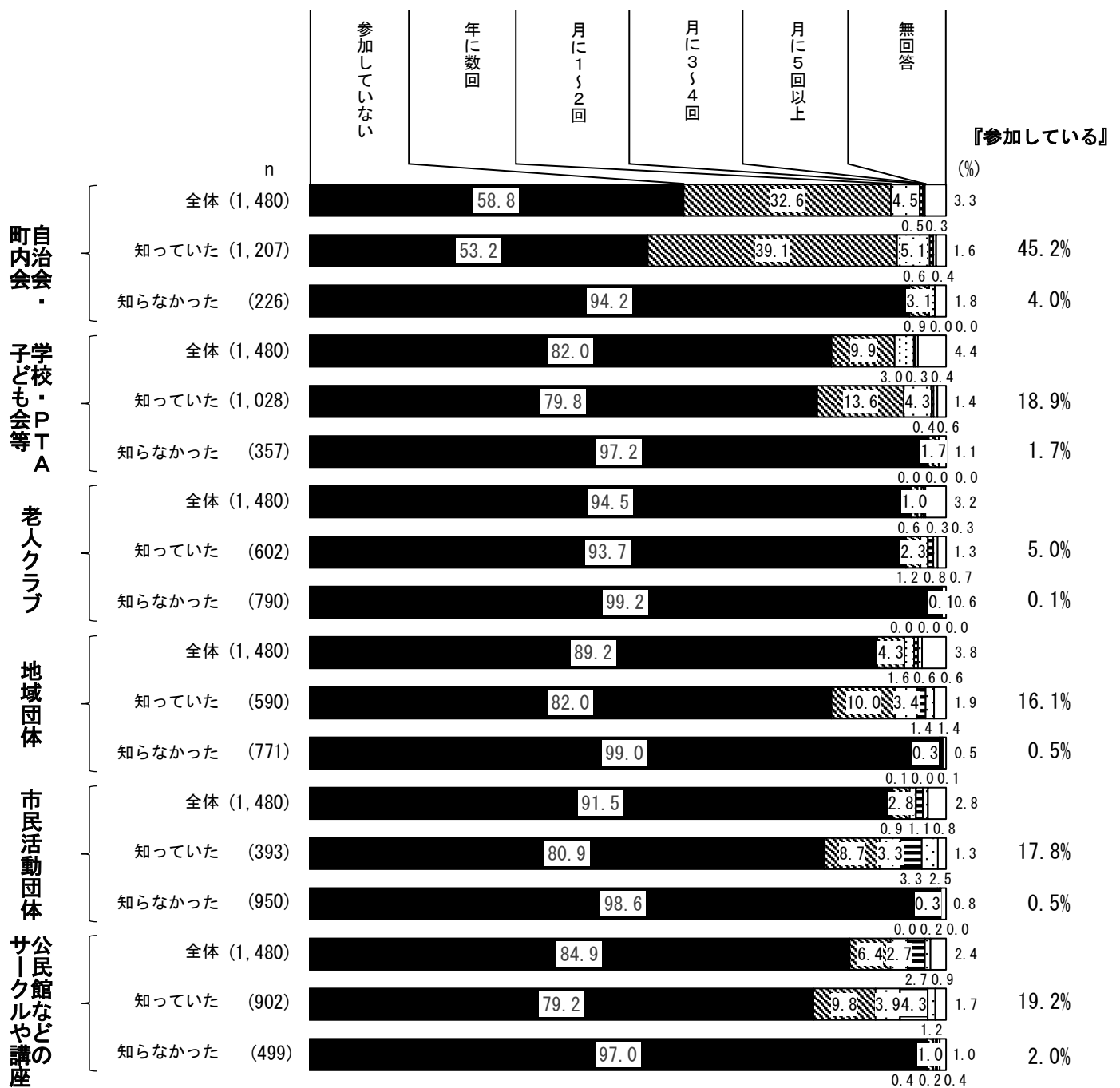
【図表14：年齢別・居住地区別／参加の頻度⑥】 公民館などのサークルや講座



『参加している』割合を年齢別にみると、70歳代以上（23.3%）で割合が高くなっている一方、「参加していない」割合は、20歳代（98.1%）や10歳代（94.1%）で高くなっている。

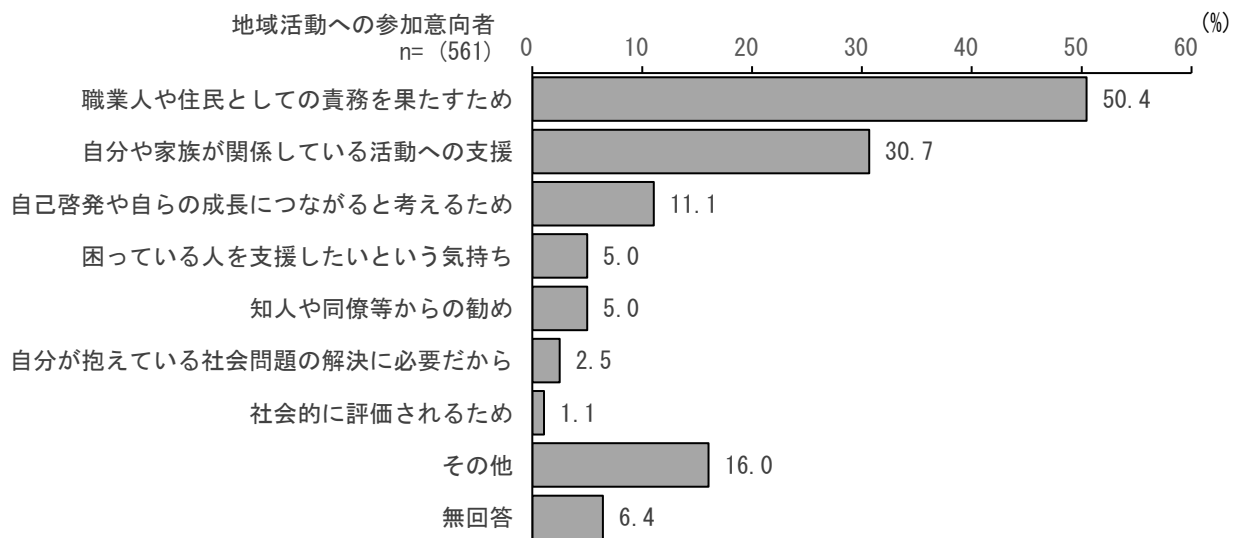
居住地区別に『参加している』割合をみると、鶴沼（20.0%）や明治（17.3%）などで高い一方、「参加していない」割合は、藤沢（92.7%）や片瀬（89.7%）、六会（89.7%）などで高くなっている。

【図表15：地域活動の認知状況別／参加の頻度】



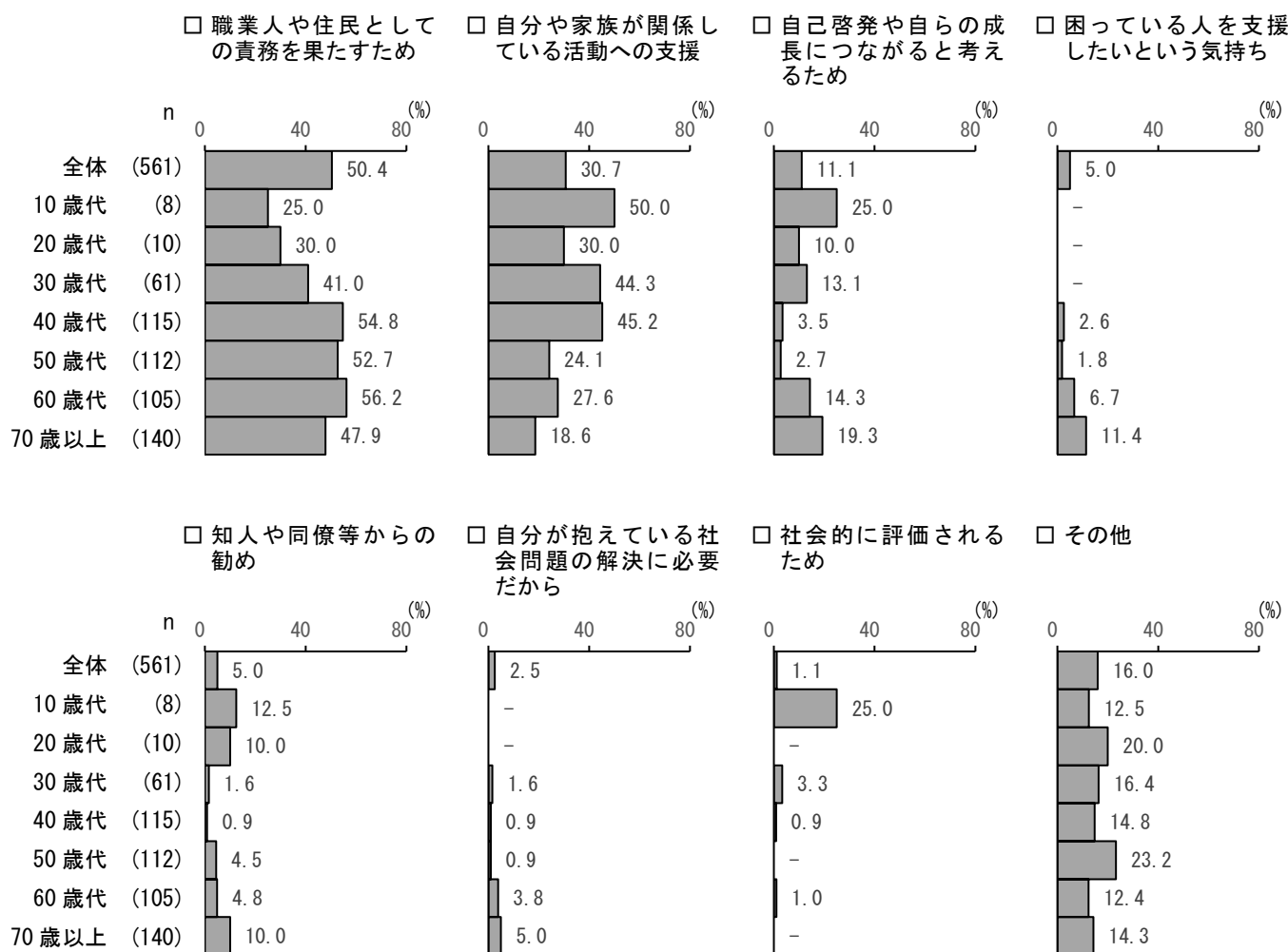
地域活動の認知状況別で見ると、「自治会・町内会」を「知っている」で『参加している』割合は45.2%、「学校・PTA/子ども会等」を「知っている」で『参加している』割合は18.9%、「老人クラブ」を「知っている」で『参加している』割合は5.0%、「地域団体」を「知っている」で『参加している』割合は16.2%、「市民活動団体（NPOを含む）」を「知っている」で『参加している』割合は17.8%、「公民館などのサークルや講座」を「知っている」で『参加している』割合は19.2%となっている。

【図表16：地域活動の参加の理由①】自治会・町内会



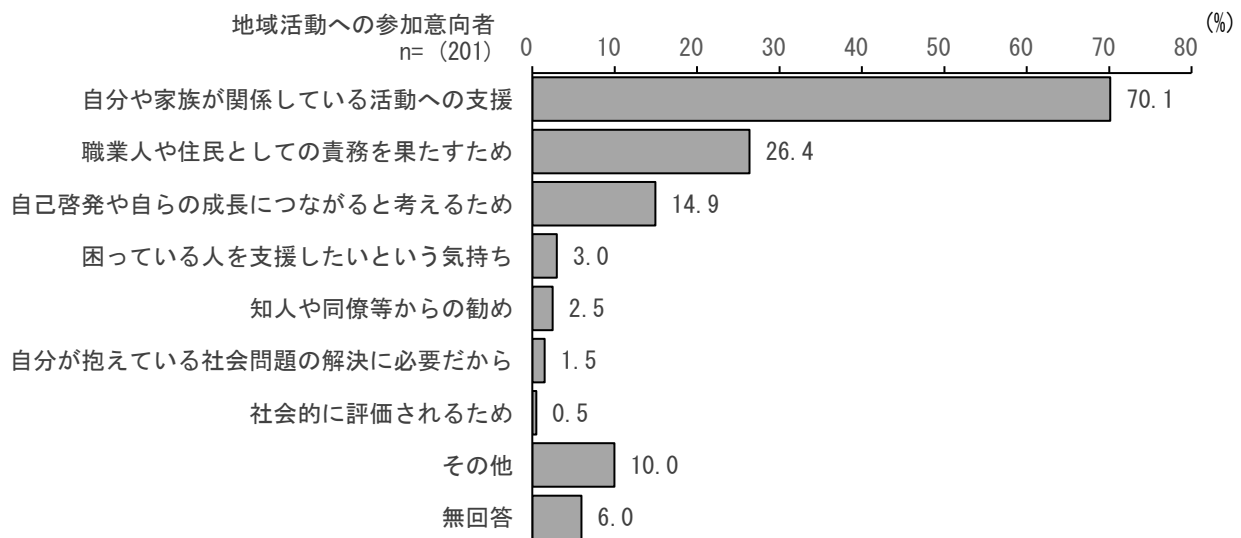
自治会・町内会への参加理由については、「職業人や住民としての責務を果たすため」が50.4%と最も高く、次いで、「自分や家族が関係している活動への支援」(30.7%)、「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」(11.1%)の順となっている。

【図表17：年齢別／参加の理由①】自治会・町内会 上位8項目



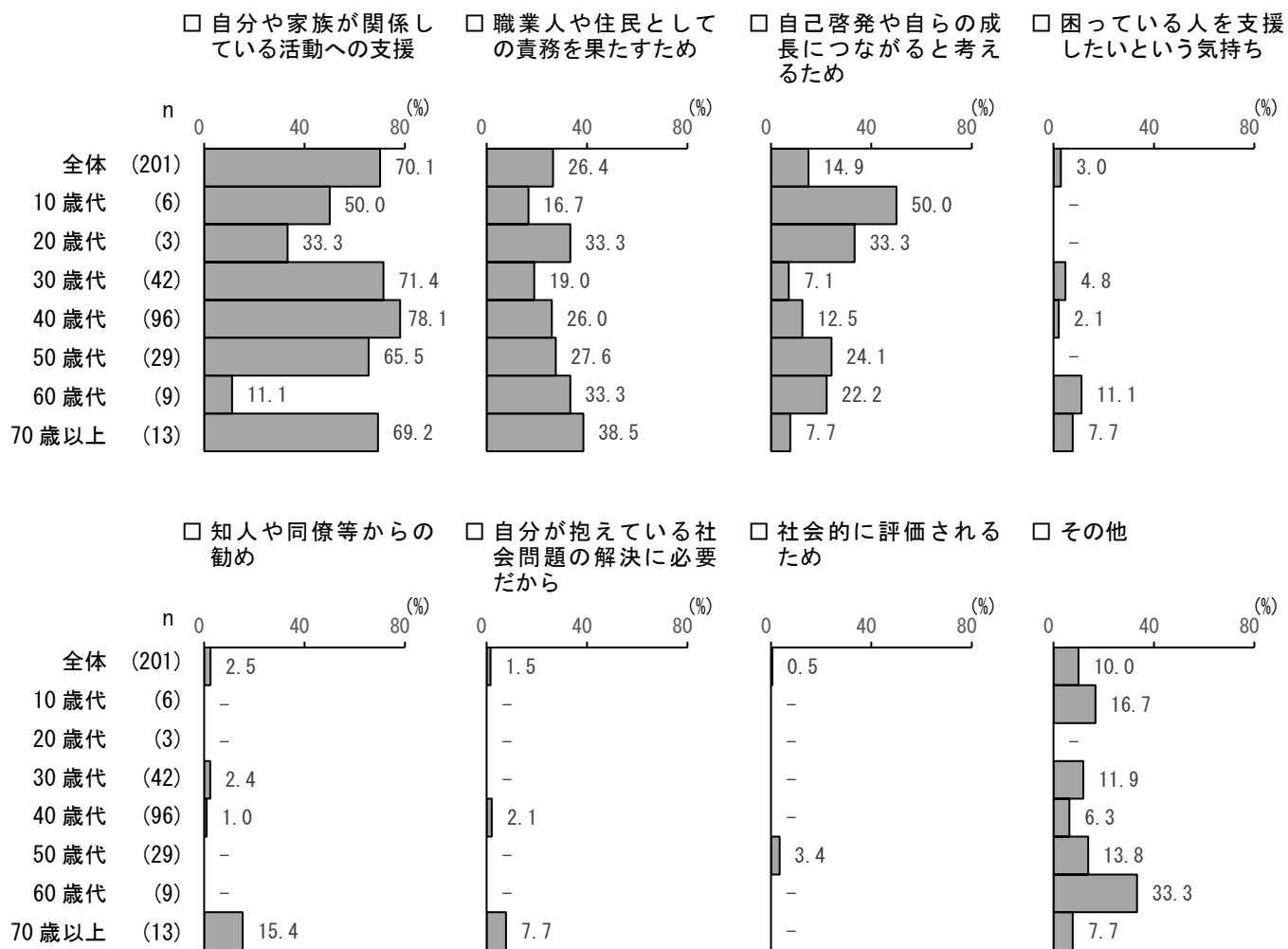
「職業人や住民としての責務を果たすため」を年齢別で見ると、60歳代が56.2%と最も高くなっている。「自分や家族が関係している活動への支援」は、40歳代（45.2%）や30歳代（44.3%）が他の年代に比べ割合が高くなっている。

【図表18：地域活動の参加の理由②】 学校・PTA/子ども会等



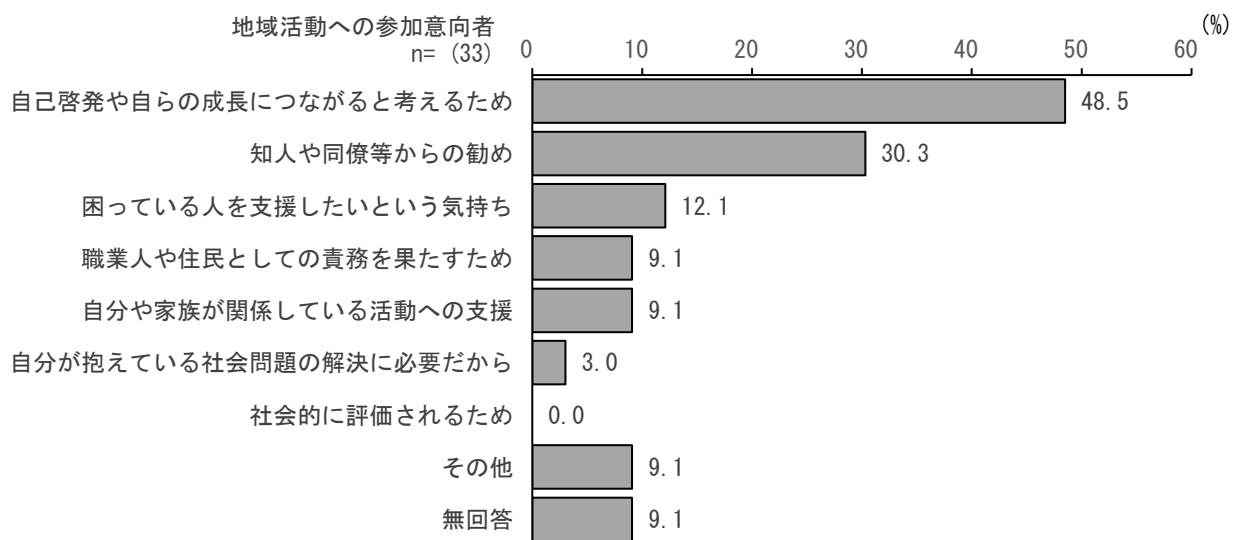
学校・PTA・子ども会への参加理由については、「自分や家族が関係している活動への支援」が70.1%と圧倒的に高く、次いで、「職業人や住民としての責務を果たすため」(26.4%)、「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」(14.9%)の順となっている。

【図表19：年齢別／参加の理由②】 **学校・PTA・子ども会等** 上位8項目



年齢別はサンプル数が少ないため参考として表示するにとどめる。

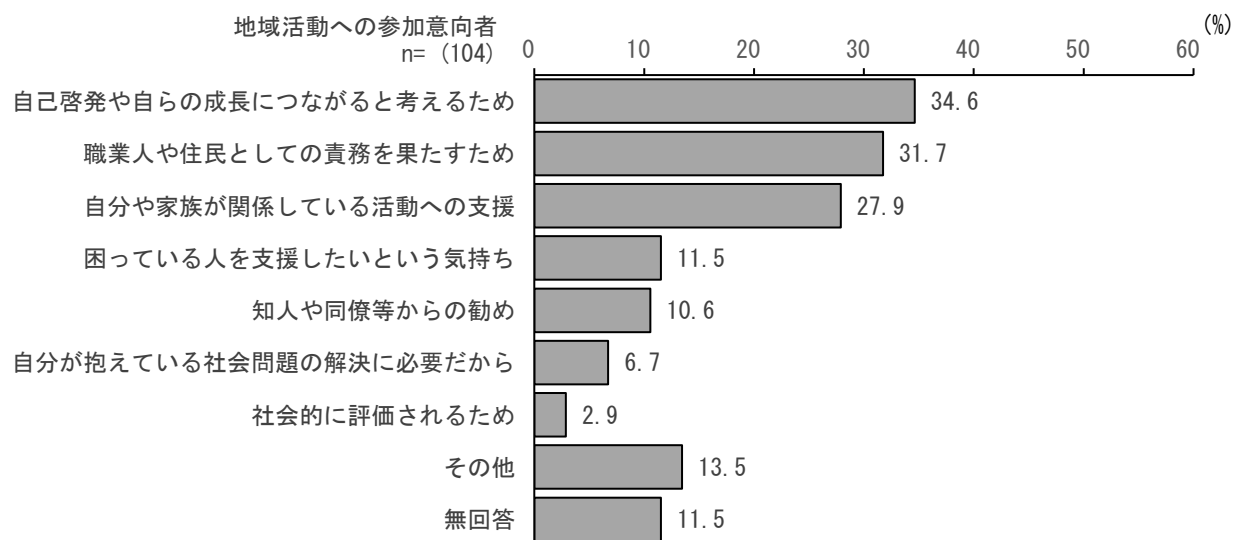
【図表20：地域活動の参加の理由③】老人クラブ



老人クラブへの参加理由については、「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」が48.5%と最も高く、次いで「知人や同僚等からの勧め」(30.3%)となっている。

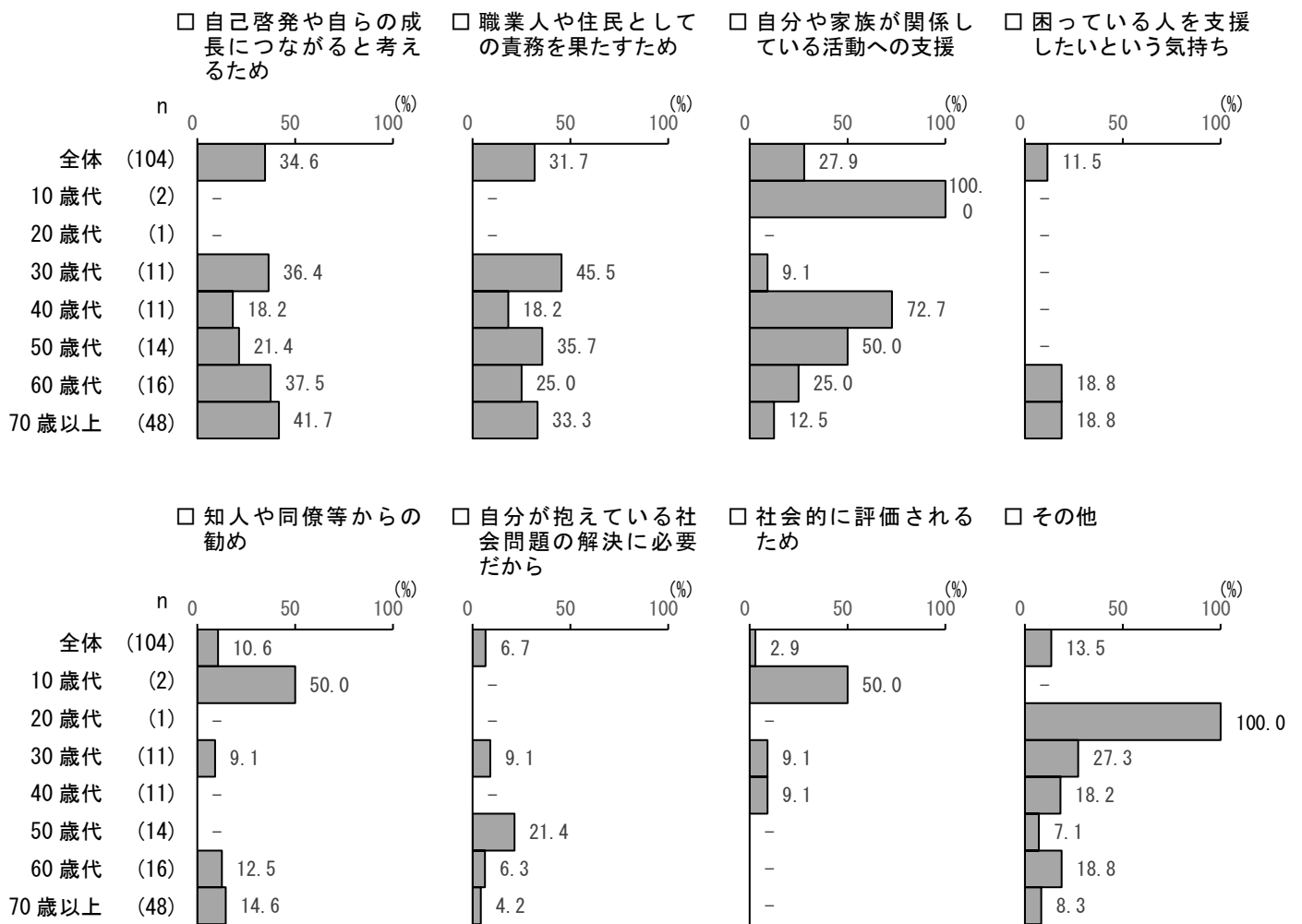
※老人クラブに関しては、加入年齢が原則として60歳以上となっているため、年齢別グラフは省略する。

【図表21：地域活動の参加の理由③】**地域団体**



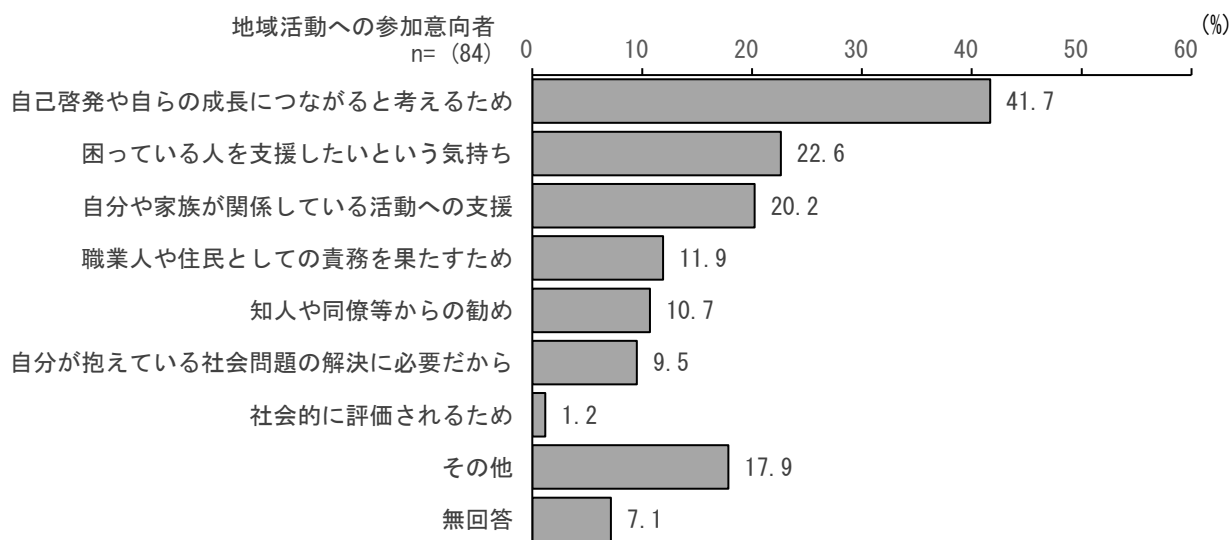
地域団体への参加理由については、「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」が34.6%と最も高く、次いで、「職業人や住民としての責務を果たすため」(31.7%)、「自分や家族が関係している活動への支援」(27.9%)の順となっている。

【図表2.2：年齢別／参加の理由③】**地域団体** 上位8項目



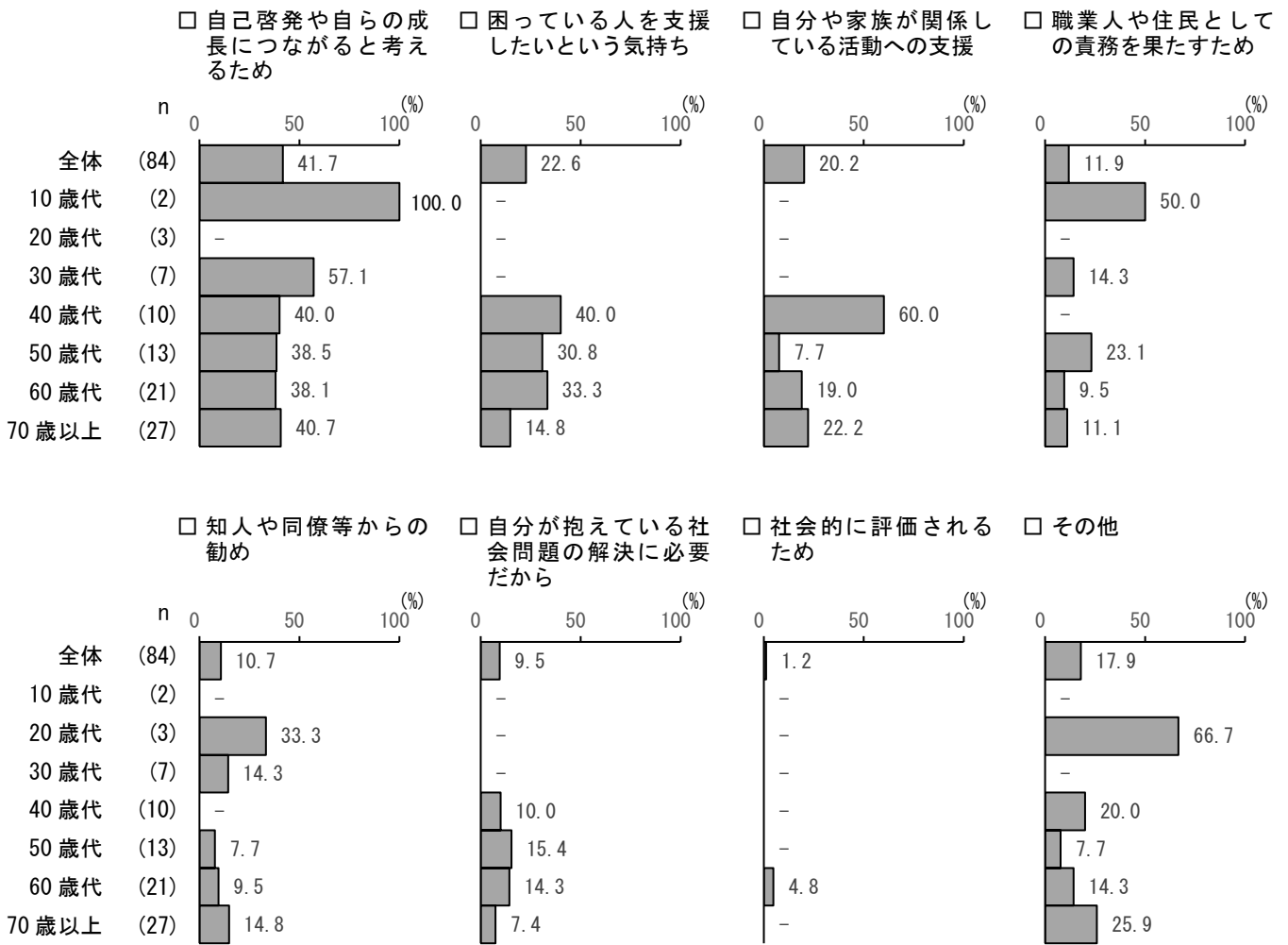
年齢別はサンプル数が少ないため参考として表示するにとどめる。

【図表23：地域活動の参加の理由④】 市民活動団体（NPOを含む）



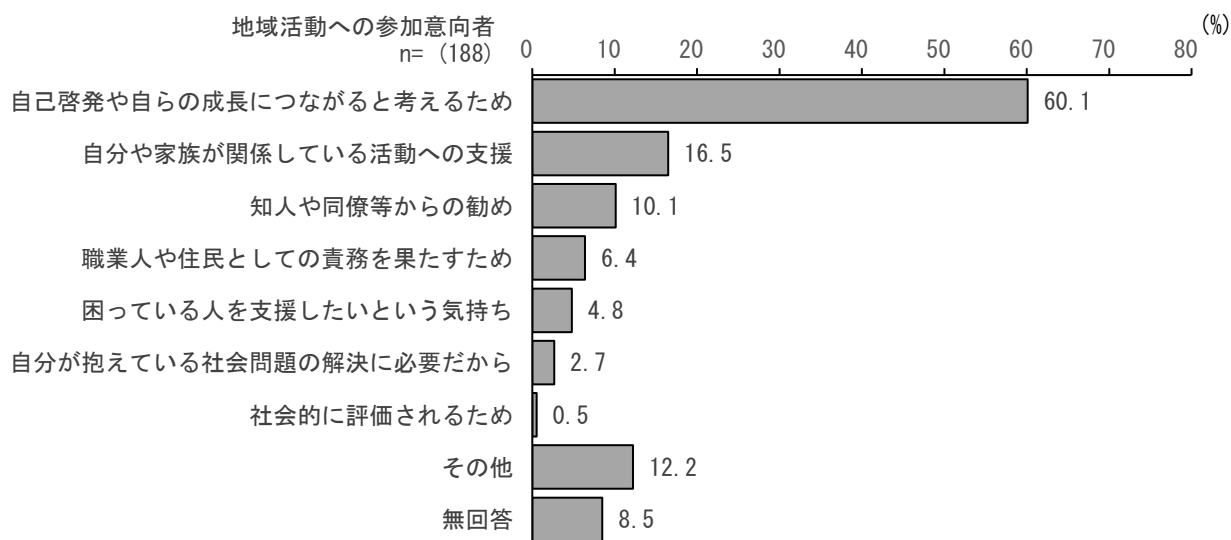
市民活動団体（NPOを含む）への参加理由については、「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」が41.7%と最も高く、次いで、「困っている人を支援したいという気持ち」（22.6%）、「自分や家族が関係している活動への支援」（20.2%）の順となっている。

【図表24：年齢別／参加の理由④】市民活動団体（NPOを含む） 上位8項目



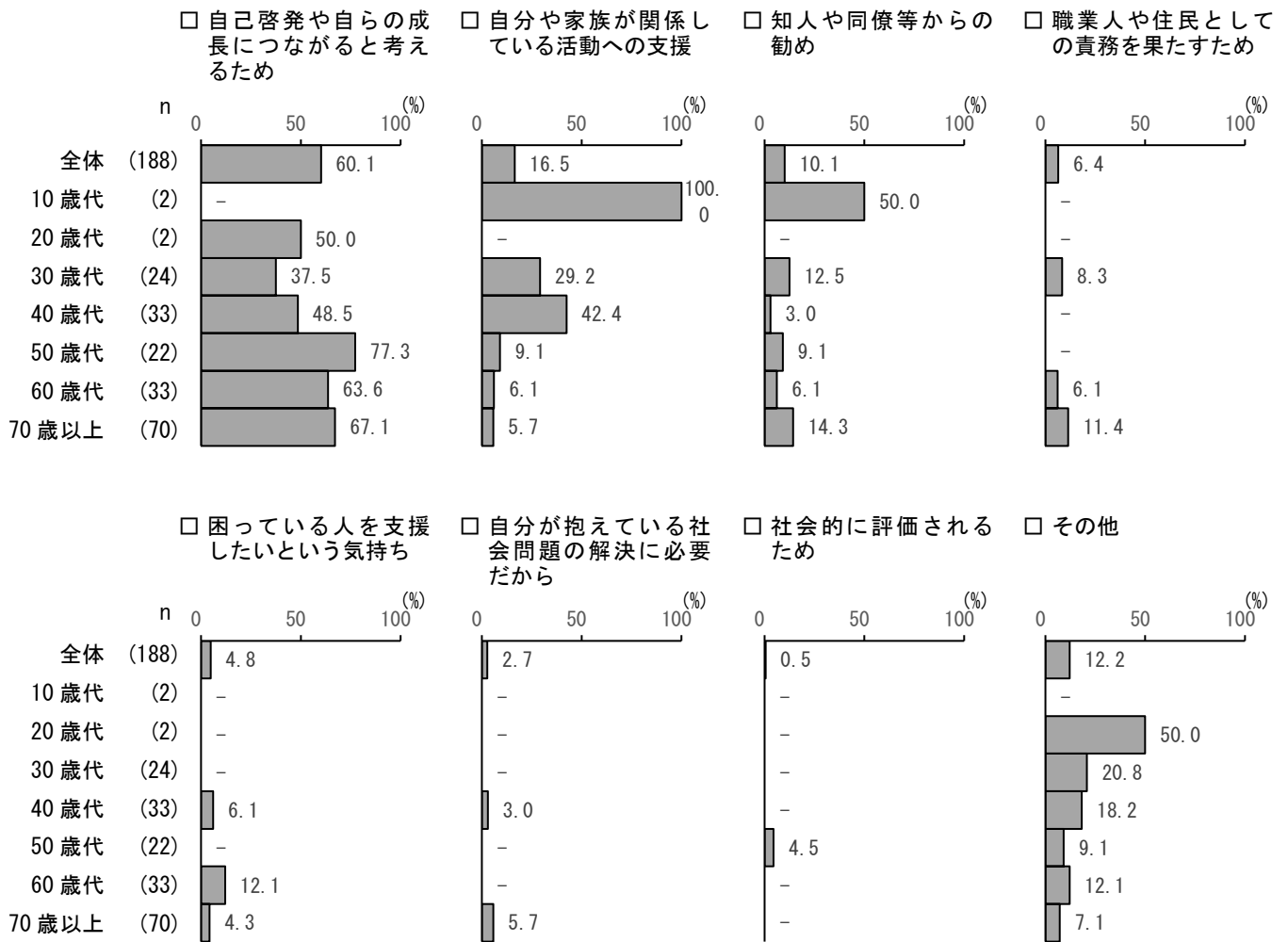
年齢別はサンプル数が少ないため参考として表示するにとどめる。

【図表25：地域活動の参加の理由⑤】 公民館などのサークルや講座



公民館などのサークルや講座への参加理由については、「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」が60.1%と最も高く、次いで、「自分や家族が関係している活動への支援」(16.5%)、「知人や同僚等からの勧め」(10.1%)の順となっている。

【図表26：年齢別／参加の理由⑤】市公民館などのサークルや講座 上位8項目

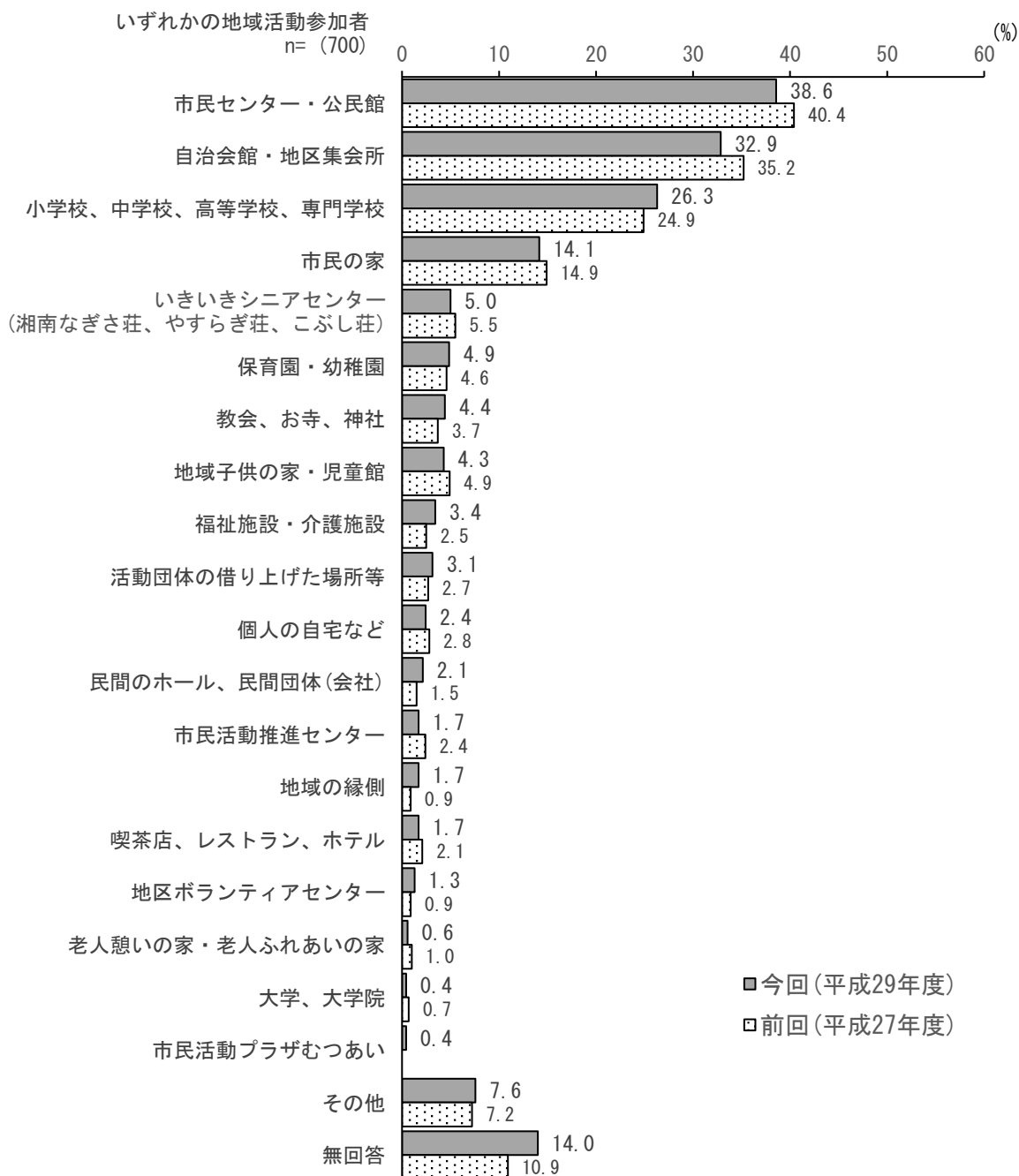


年齢別はサンプル数が少ないため参考として表示するにとどめる。

(3) 地域活動を行う場として利用している施設

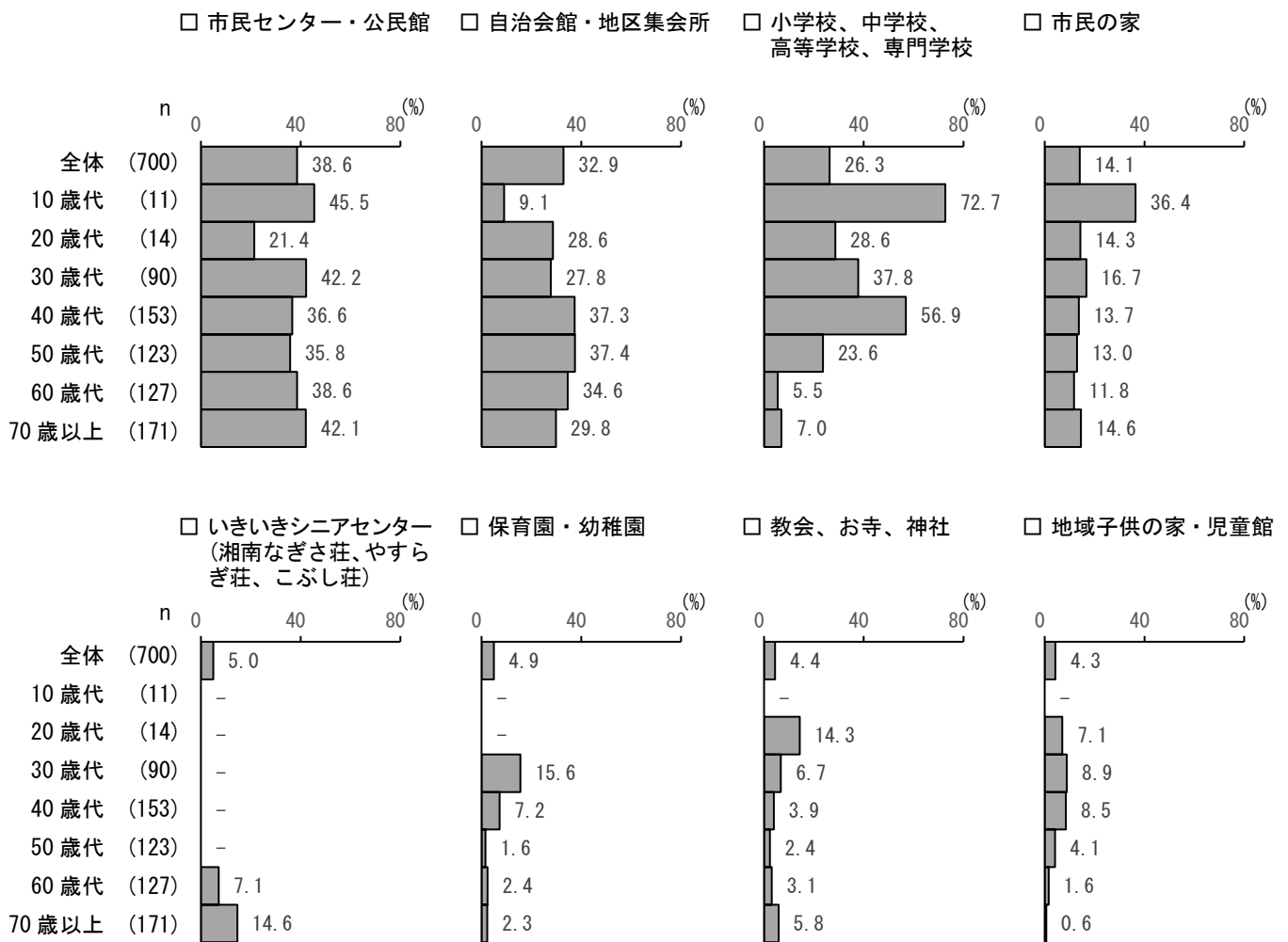
【問2-2. 「①参加の頻度」で2~5に○を一つでもつけた方にお聞きします】
 問2-3 あなたが地域活動を行う場として利用している施設（場所）はどこですか。
 （あてはまるものすべてに○）

【図表27：地域活動を行う場として利用している施設】



地域活動を行う場としては、「市民センター・公民館」を利用している割合が38.6%と最も高く、次いで「自治会館・地区集会所」(32.9%)、「小学校、中学校、高等学校、専門学校」(26.3%)、「市民の家」(14.1%)の順となっている。

【図表28：年齢別／地域活動を行う場として利用している施設】上位8項目



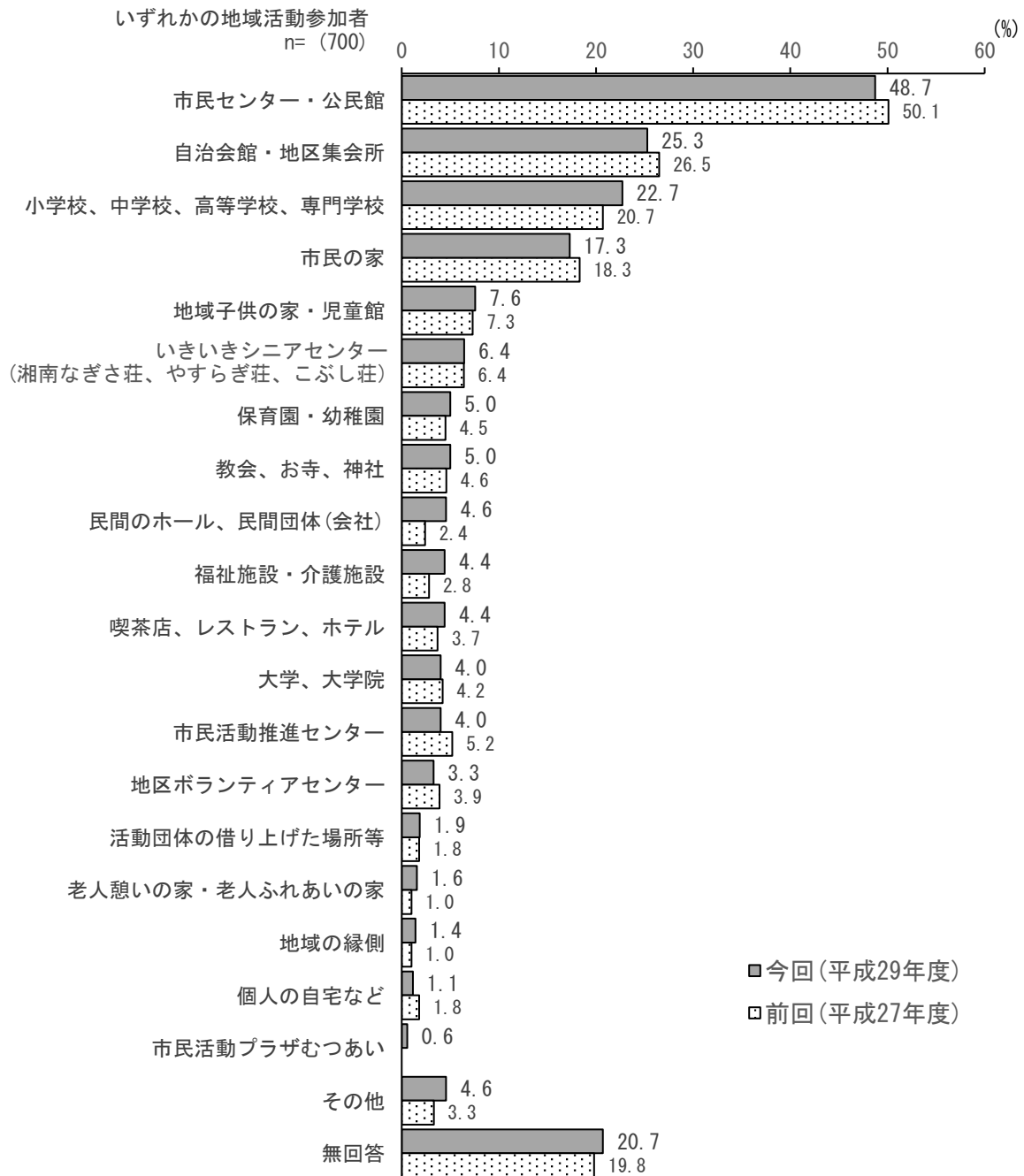
「市民センター・公民館」の利用割合を年齢別で見ると、30歳代（42.2%）や70歳代以上（42.1%）が高い。「自治会館・地区集会所」は、50歳代（37.4%）や40歳代（37.3%）、60歳代（34.6%）の利用が高く、「小学校、中学校、高等学校、専門学校」は、40歳代の利用割合が56.9%と高くなっている。

(4) 地域活動を行う場として今後利用したい施設

【問2-2.「①参加の頻度」で2~5に○を一つでもつけた方にお聞きします】

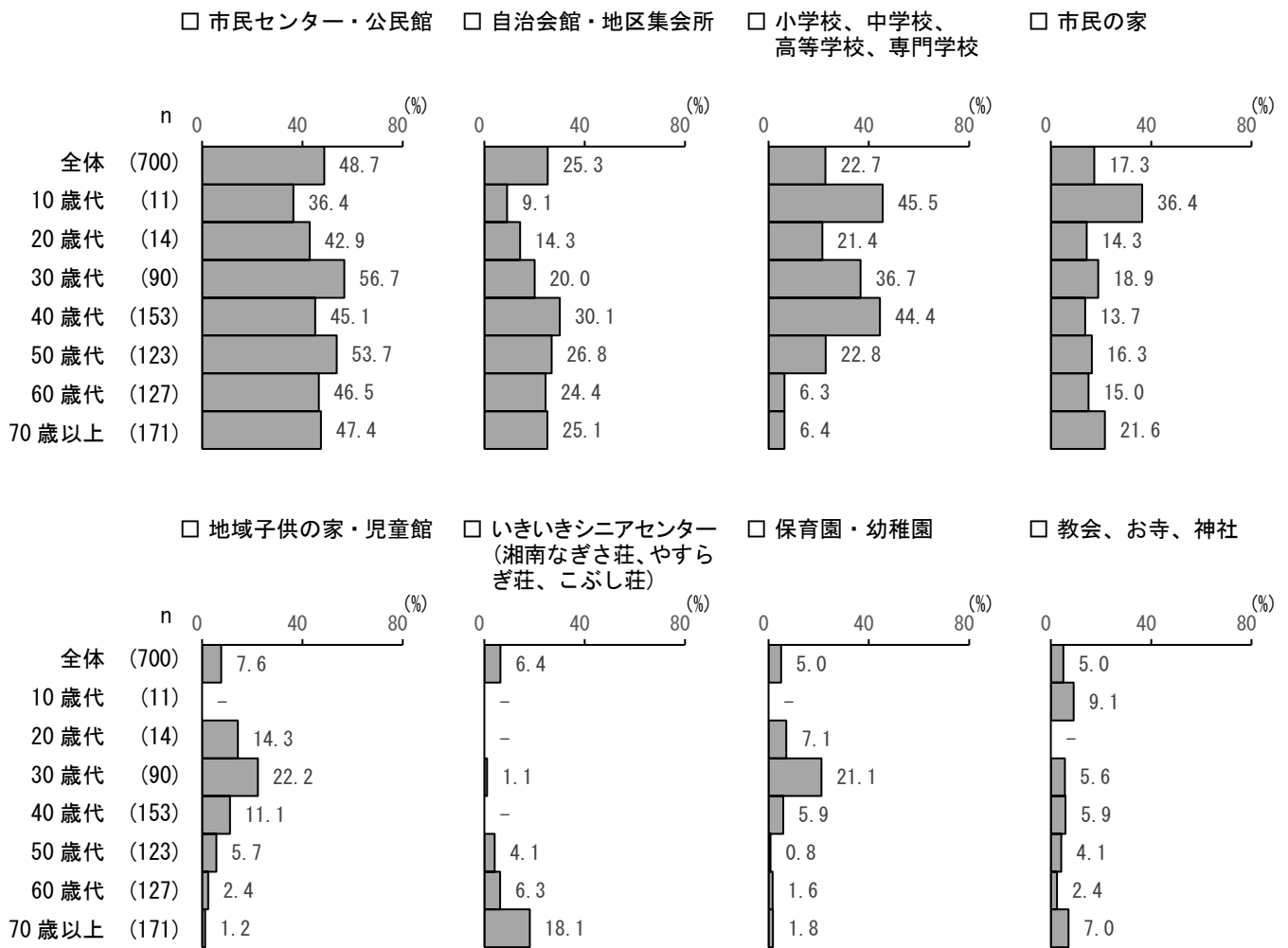
問2-4 あなたが地域活動を行う場として今後利用したい施設(場所)はどこですか。
(あてはまるものすべてに○)

【図表29：地域活動を行う場として今後利用したい施設】



地域活動を行う場として今後利用したい施設については、「市民センター・公民館」が48.7%と最も高く、次いで「自治会館・地区集会所」(25.3%)、「小学校、中学校、高等学校、専門学校」(22.7%)、「市民の家」(17.3%)の順となっている。

【図表30：年齢別／地域活動を行う場として今後利用したい施設】上位8項目

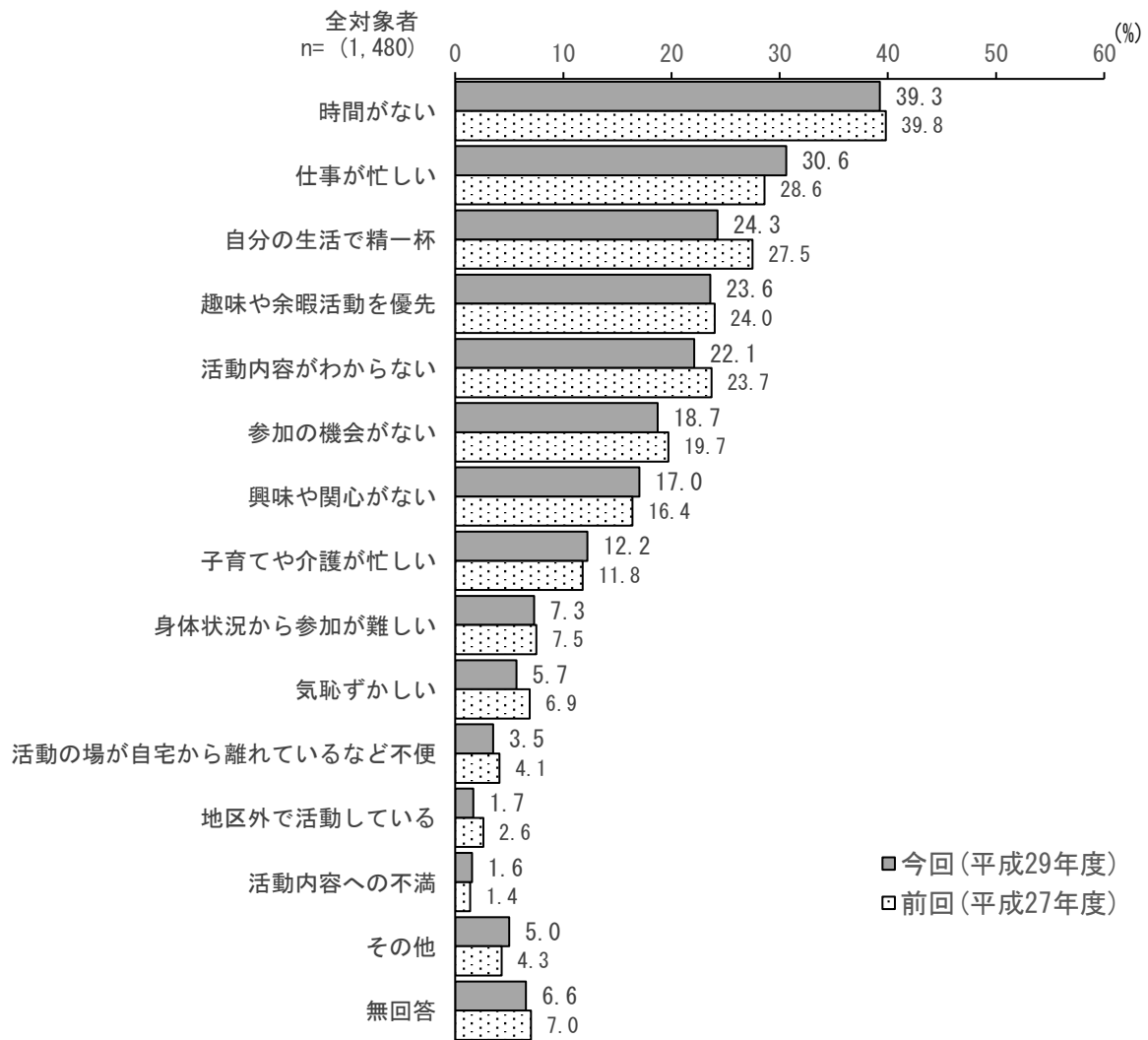


「市民センター・公民館」を年齢別で見ると、30歳代（56.7%）や50歳代（53.7%）で5割を超えている。「自治会館・地区集会所」は、40歳代（30.1%）の割合が最も高く、「小学校、中学校、高等学校、専門学校」は、40歳代（44.4%）や30歳代（36.7%）が高くなっている。

(5) 地域活動に参加することに妨げとなること

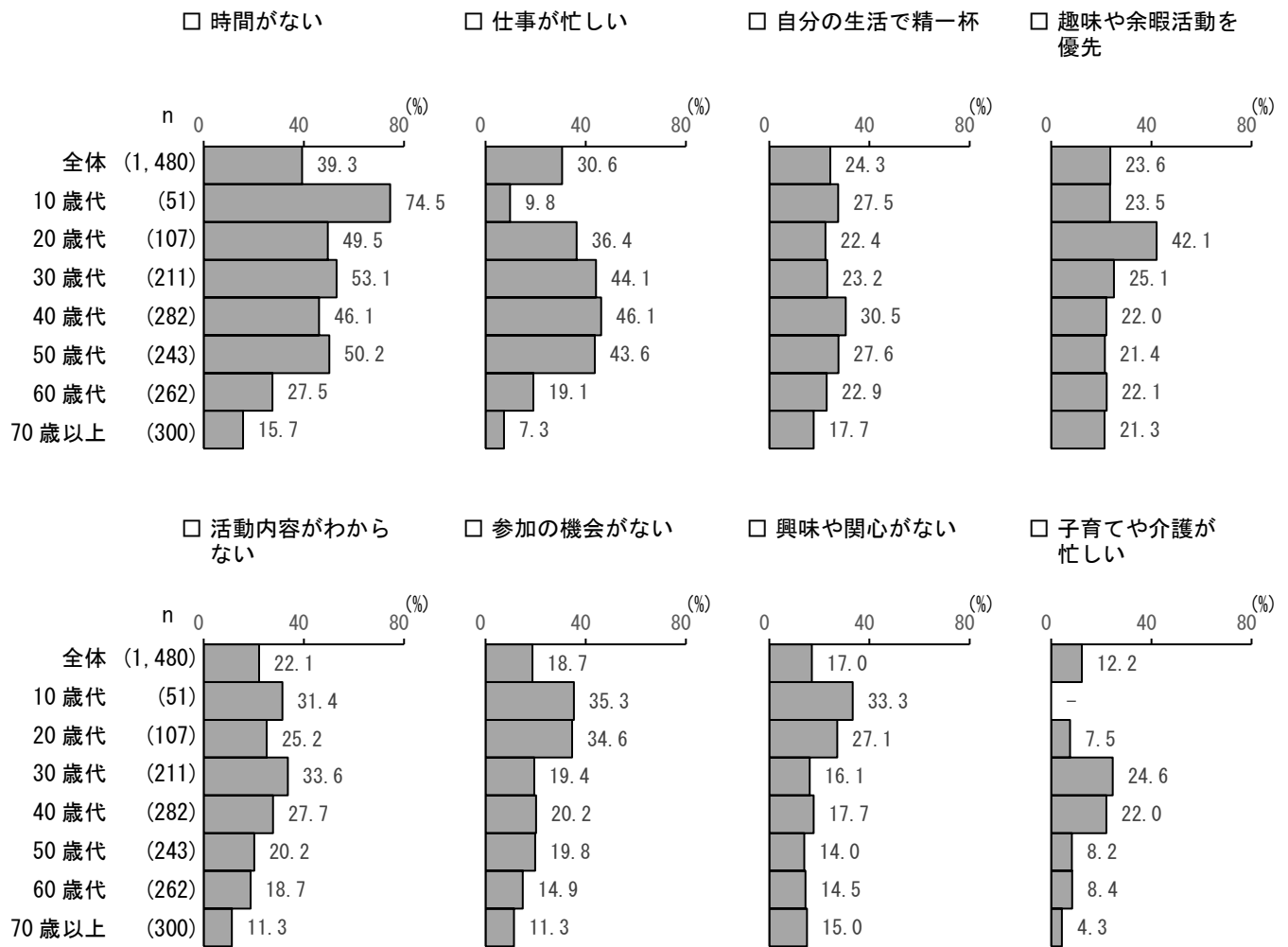
問2-5 地域活動に参加することに妨げとなることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

【図表31：地域活動に参加することに妨げとなること】



地域活動に参加することに妨げとなることについては、「時間がない」が39.3%と最も高く、次いで「仕事が忙しい」(30.6%)、「自分の生活で精一杯」(24.3%)、「趣味や余暇活動を優先」(23.6%)、「活動内容がわからない」(22.1%)の順となっている。

【図表3 2：年齢別／地域活動に参加することに妨げとなること】上位8項目



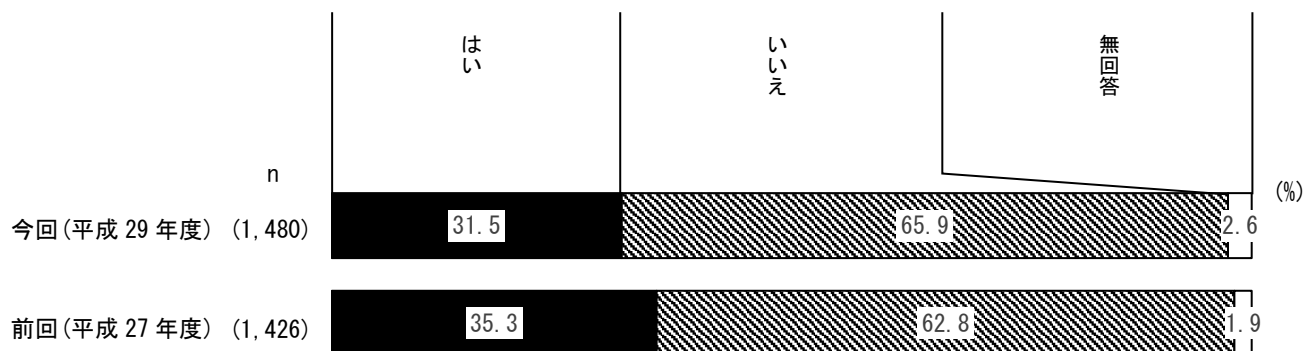
「時間がない」と「仕事が忙しい」は、10歳代を除くと似たような傾向を示している。「時間がない」では10歳代が74.5%と最も高く、20歳代～50歳代までは5割前後となっている。「仕事が忙しい」は、40歳代が46.1%で最も高いが、30歳代（44.1%）と50歳代（43.6%）も同程度となっている。「自分の生活で精一杯」については年齢による違いはあまり大きくない。

3. 市民活動について

(1) 市民活動への参加意向

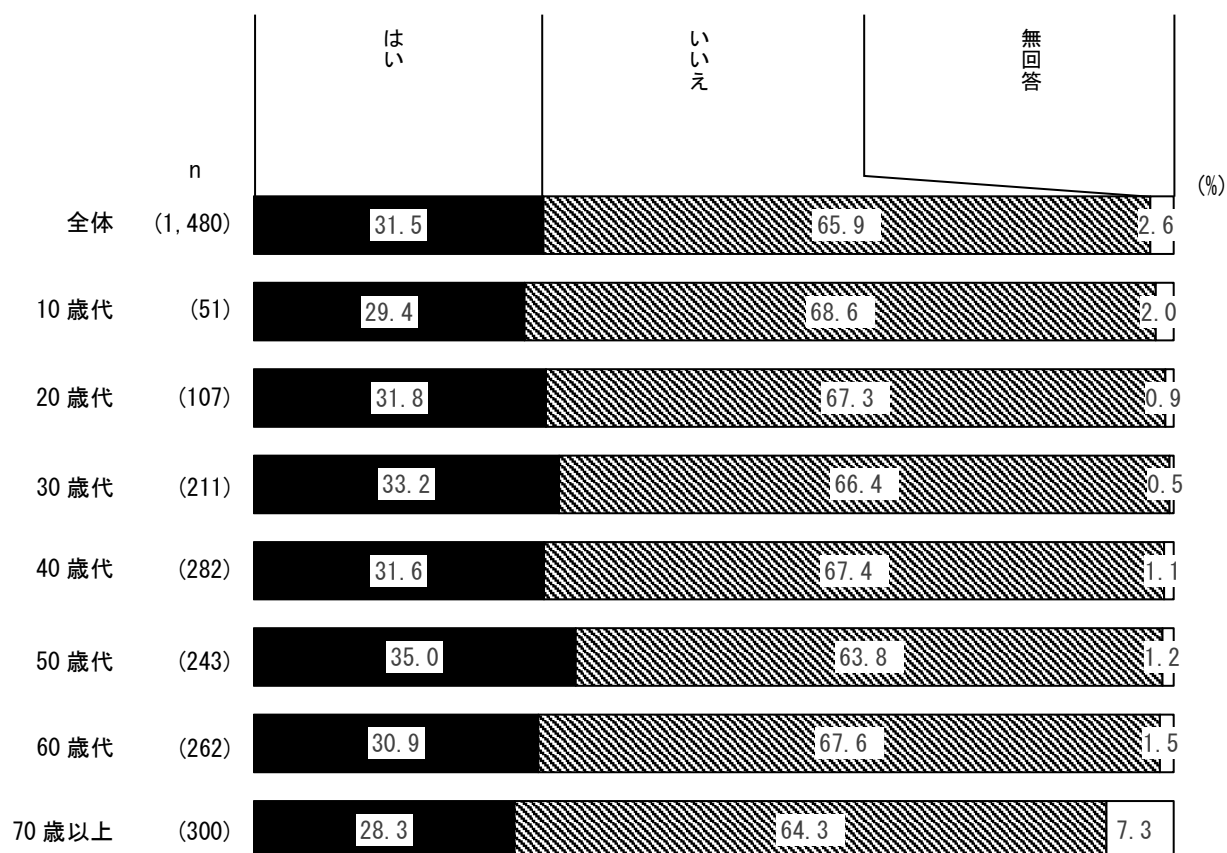
問3-1 今後、市民活動（市民活動団体（NPOを含む）の活動）に参加したいですか。
（一つに〇）

【図表33：市民活動への参加意向】



市民活動への参加意向については、「はい」が31.5%と、前回調査（平成27年度）の35.3%よりやや低くなっている。

【図表34：年齢別／市民活動への参加意向】



年齢別にみると、50歳代で「はい」の割合が35.0%とやや高いが、各年代とも3割前後で大きな違いはみられない。

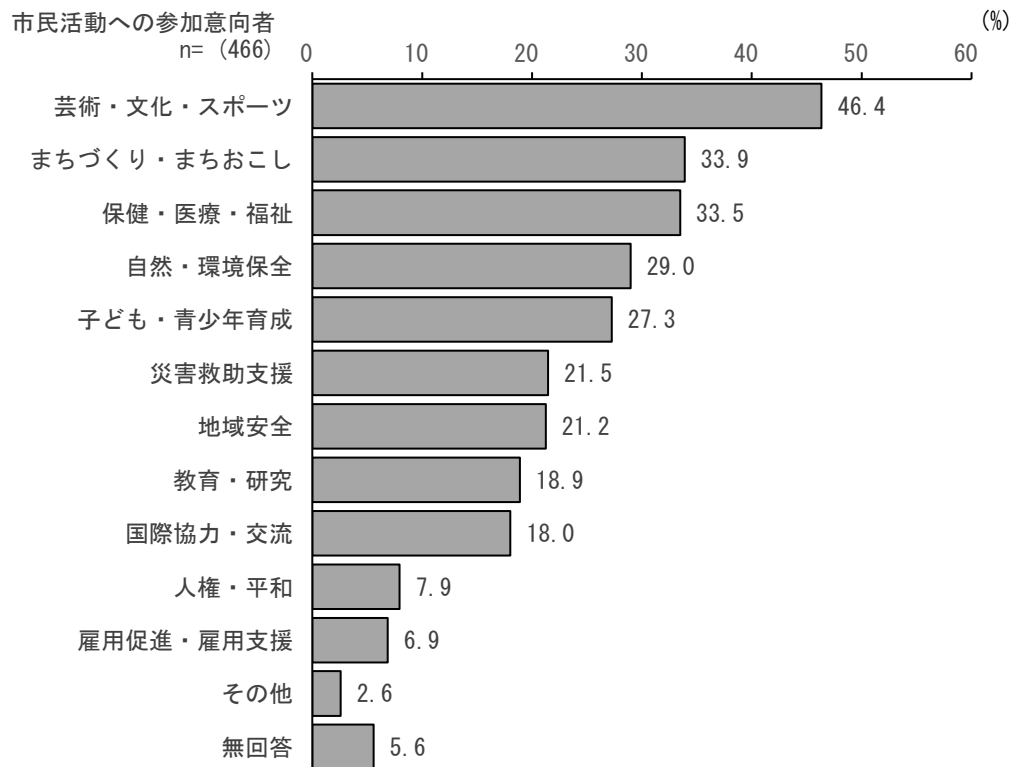
(2) 参加したい市民活動の分野

【問3-1で「1. はい」に○をつけた方にお聞きします】

問3-2 次のうち、参加したい市民活動の分野をお選びください。

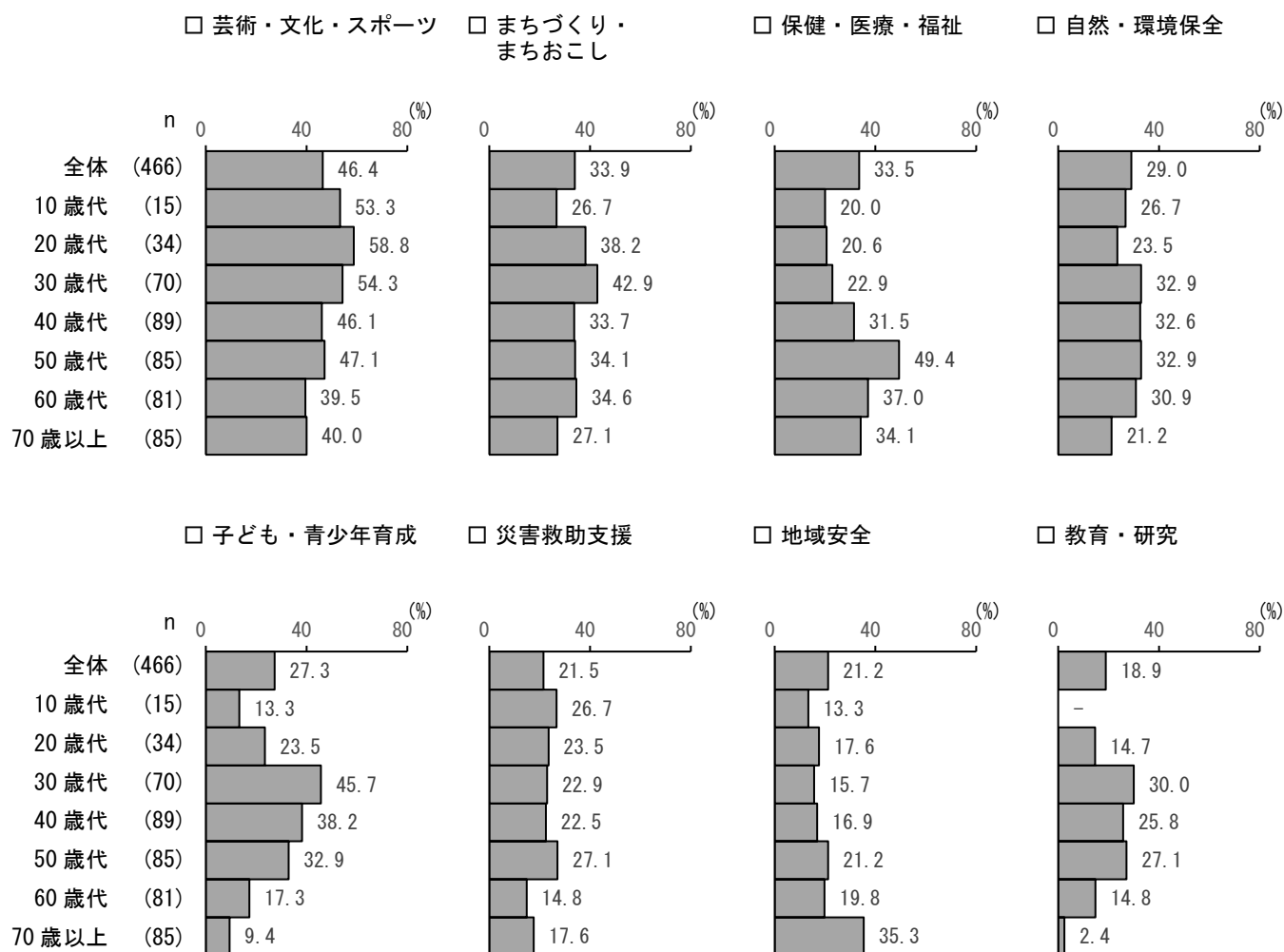
(あてはまるものすべてに○)

【図表35：参加したい市民活動の分野】



参加したい市民活動については、「芸術・文化・スポーツ」が46.4%と最も高く、次いで、「まちづくり・まちおこし」(33.9%)、「保健・医療・福祉」(33.5%)、「自然・環境保全」(29.0%)、「子ども・青少年育成」(27.3%)の順となっている。

【図表36：年齢別／参加したい市民活動の分野】上位8項目



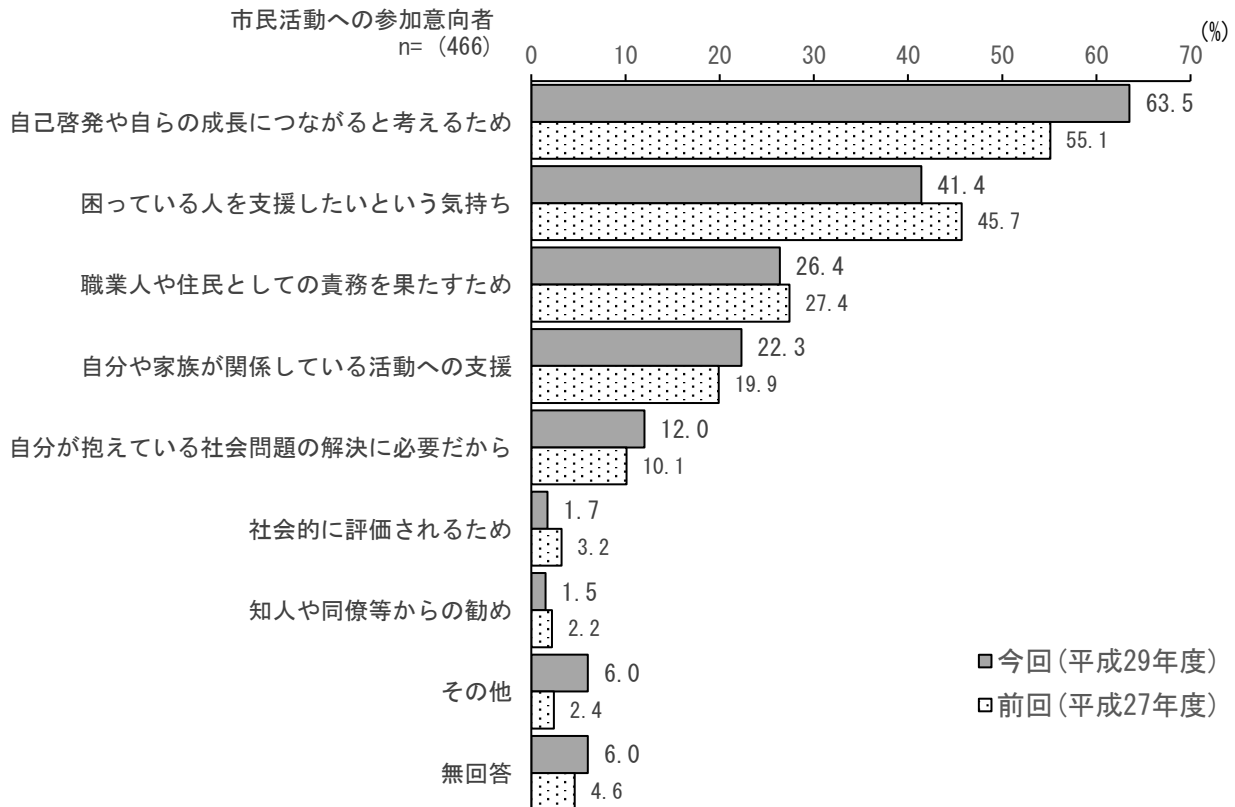
「芸術・文化・スポーツ」を年齢別で見ると、20歳代（58.8%）や30歳代（54.3%）で5割を超えている。「まちづくり・まちおこし」は、30歳代が42.9%、「保険・医療・福祉」では、50歳代が49.4%と最も高くなっている。

(3) 市民活動に参加する理由

【問3-1で「1. はい」に○をつけた方にお聞きします】

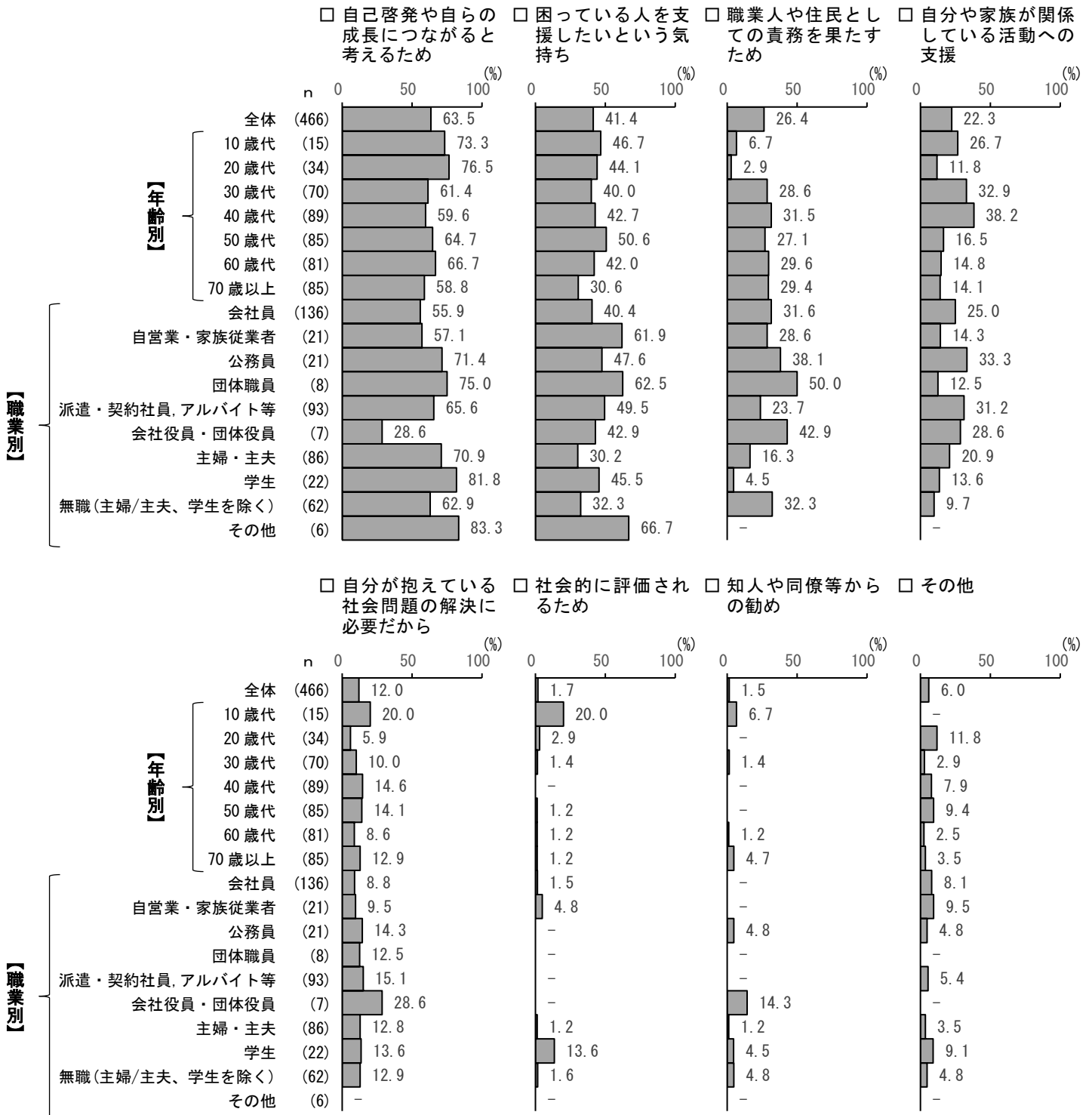
問3-3 市民活動に参加する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【図表37：市民活動に参加する理由】



市民活動に参加する理由については、「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」が63.5%と最も高く、次いで、「困っている人を支援したいという気持ち」(41.4%)、「職業人や住民としての責務を果たすため」(26.4%)、「自分や家族が関係している活動への支援」(22.3%)の順となっている。

【図表38：年齢別・職業別／市民活動に参加する理由】上位8項目



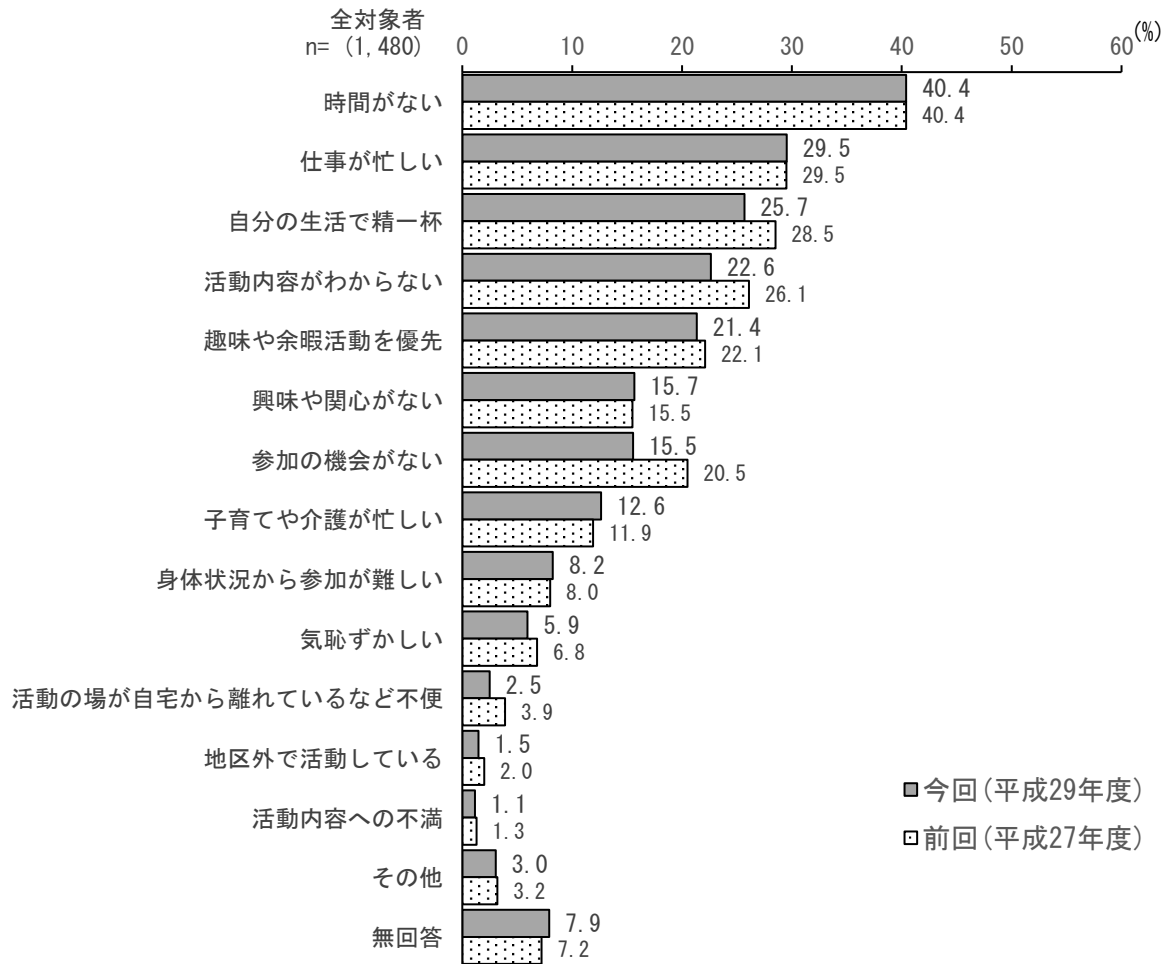
「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」と答えた割合は、20歳代が76.5%と最も高いが、他の年代も6割前後と高くなっている。「困っている人を支援したいという気持ち」は、50歳代が50.6%と5割を超えている。

「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」を職業別にみると、「主婦・主夫」(70.9%)や「派遣・契約社員、アルバイト等」(65.6%)、「無職(主婦/主夫、学生を除く)」(62.9%)などで回答割合が高くなっている。

(4) 市民活動に参加することに妨げとなること

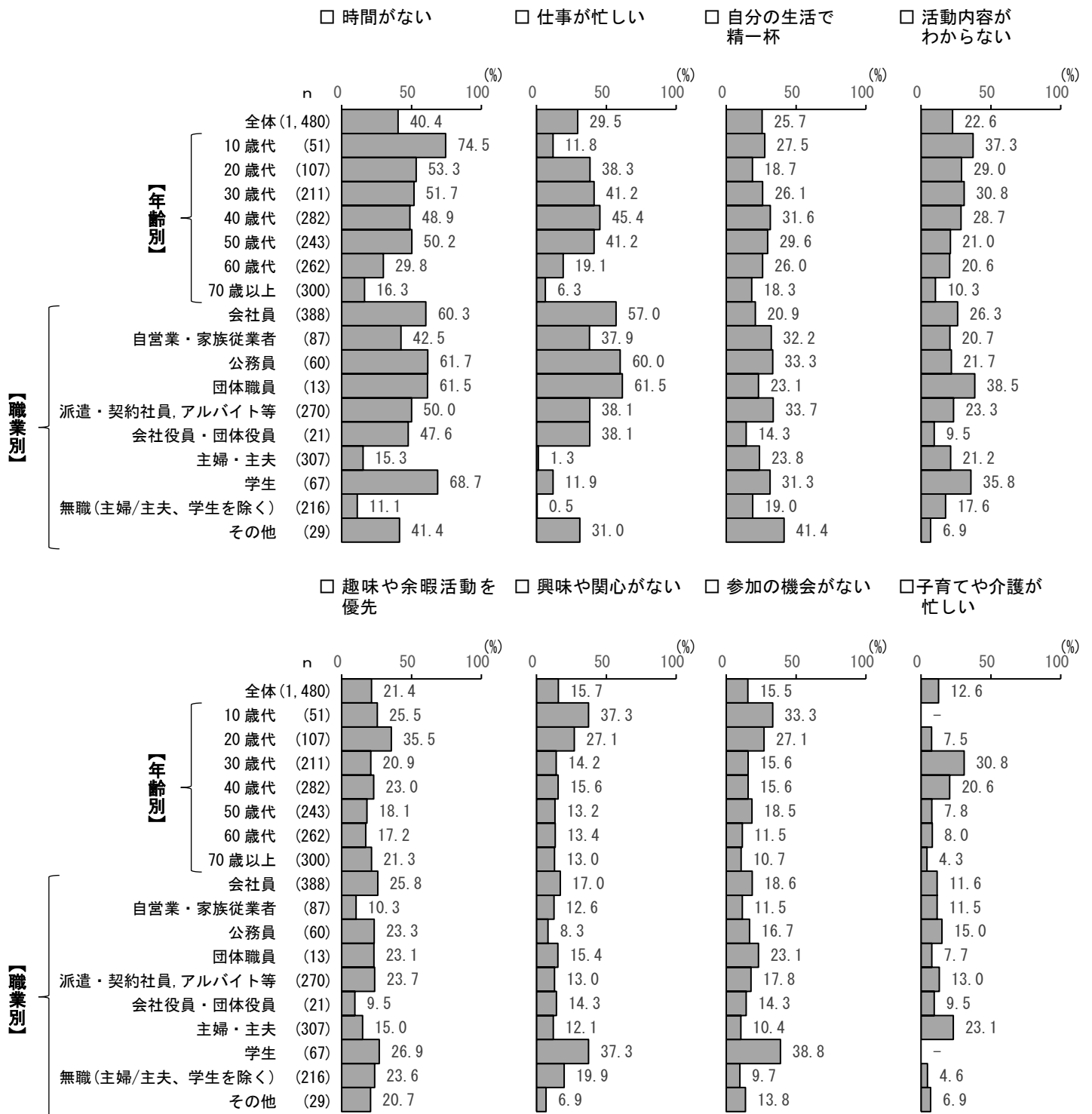
問3-4 市民活動に参加することに妨げとなることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

【図表39：市民活動に参加することに妨げとなること】



市民活動に参加することに妨げとなることについては、「時間がない」が40.4%と最も高く、次いで、「仕事が忙しい」(29.5%)、「自分の生活で精一杯」(25.7%)、「活動内容がわかからない」(22.6%)、「趣味や余暇活動を優先」(21.4%)の順となっている。

【図表40：年齢別・職業別／市民活動に参加することに妨げとなること】上位8項目



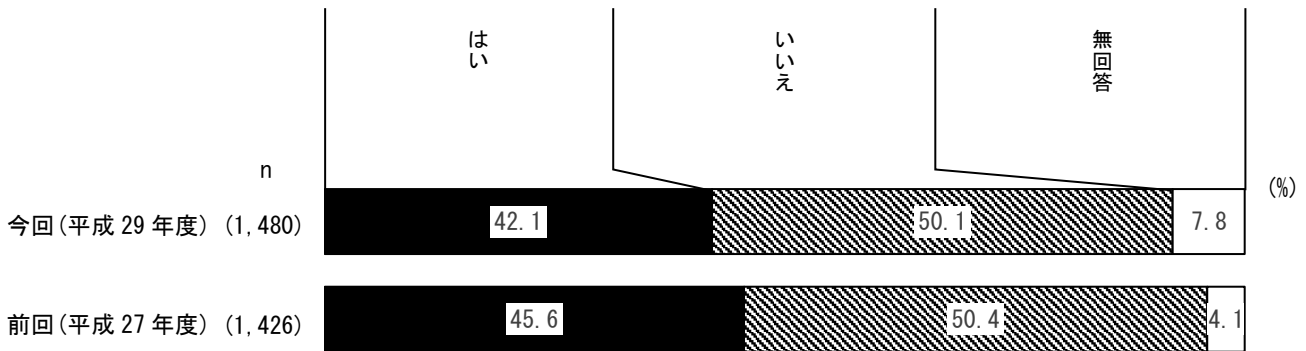
「時間がない」を年齢別にみると、10歳代が74.5%と最も高くなっており、次いで、20～50歳代が5割り前後となっている。「仕事が忙しい」は、40歳代が45.4%と最も高いが、20～50歳代は4割前後で大きな差はみられない。

「時間がない」を職業別にみると、「学生」が68.7%と最も高い一方、「仕事が忙しい」では「公務員」(60.0%)、「会社員」(57.0%)などで割合が高くなっている。

(5) 市民活動団体に期待することの有無

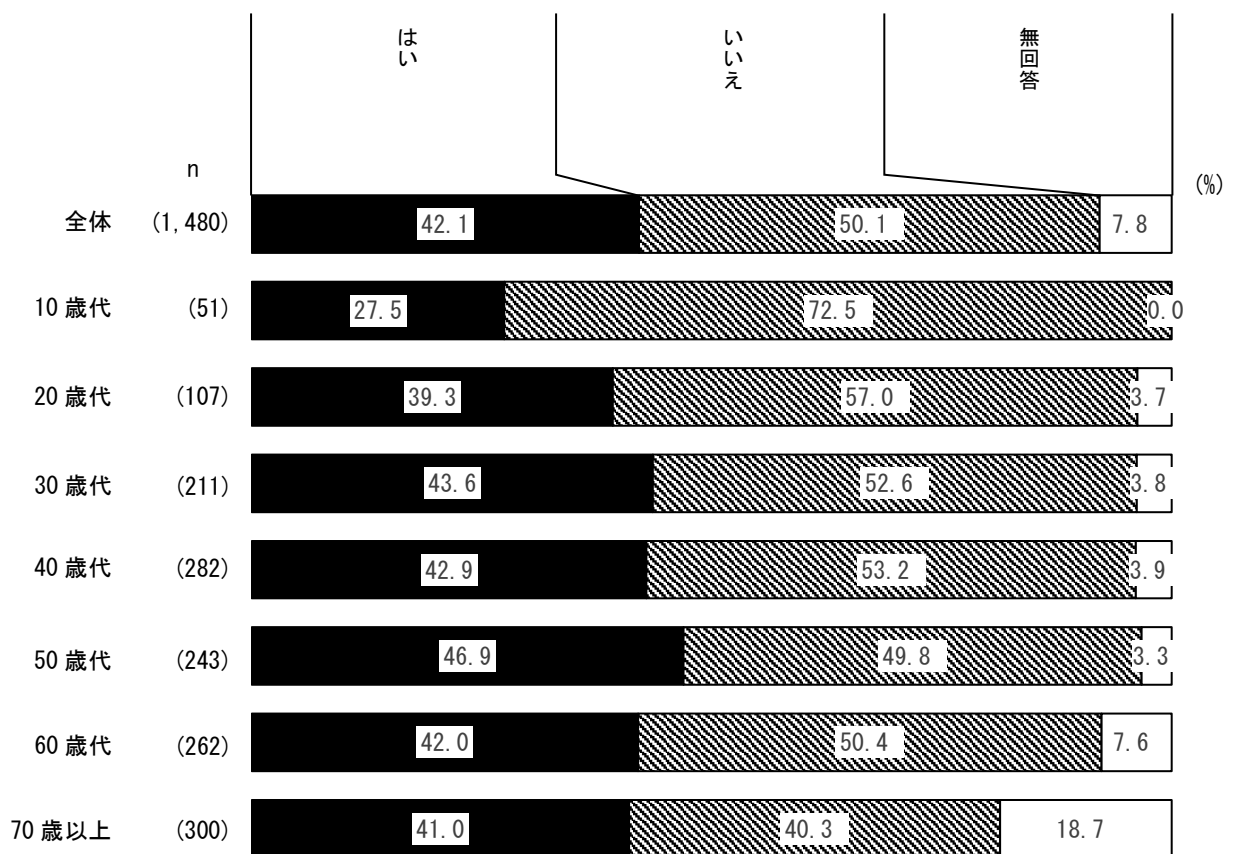
問3-5 あなたは市民活動団体に期待することはありますか。(一つに〇)

【図表4-1：市民活動団体に期待することの有無】



市民活動団体に期待することの有無については、「はい」が42.1%と、前回調査（平成27年度）の45.6%よりやや低くなっている。

【図表4-2：年齢別／市民活動団体に期待することの有無】



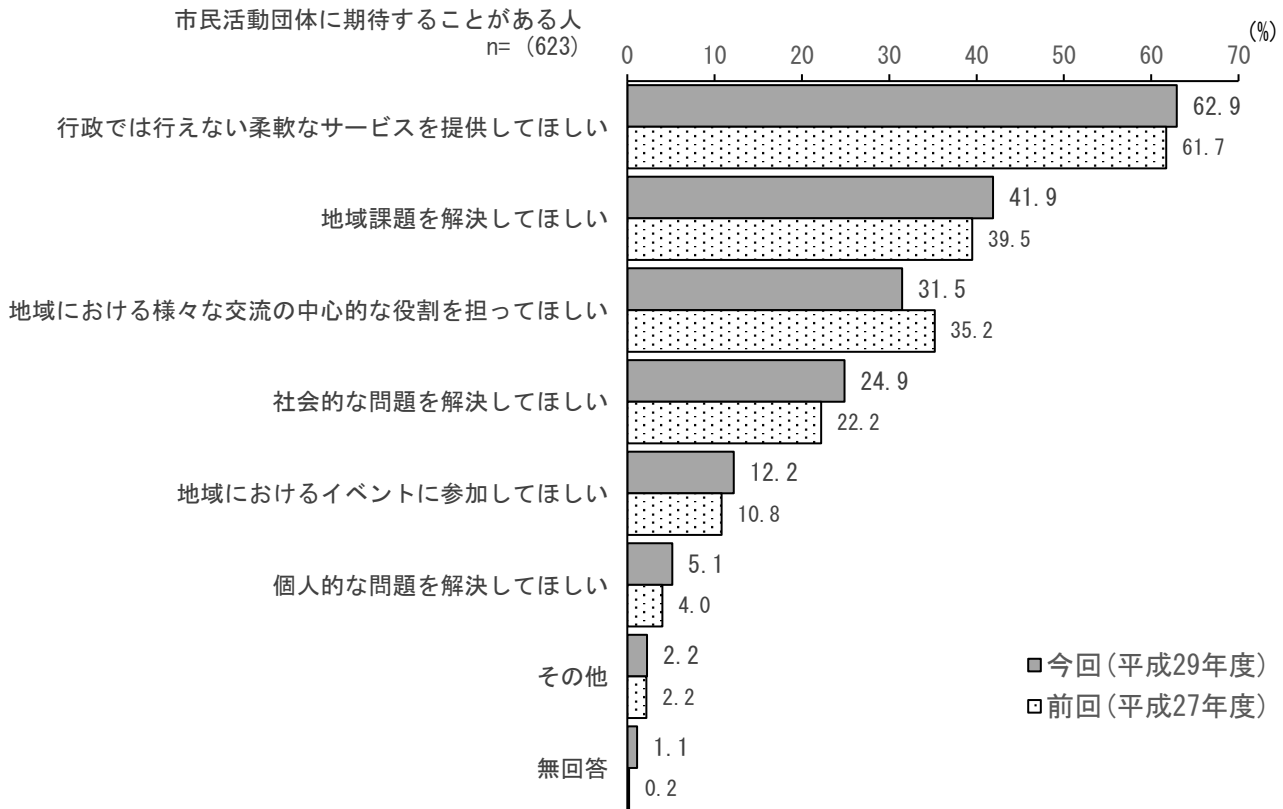
「はい」の割合を年齢別にみると、50歳代で46.9%と最も高くなっているが、20歳代以上では各年代とも4割前後で大きな違いはみられない。

(6) 市民活動団体に期待することの内容

【問3-5で「1. はい」に○をつけた方にお聞きします】

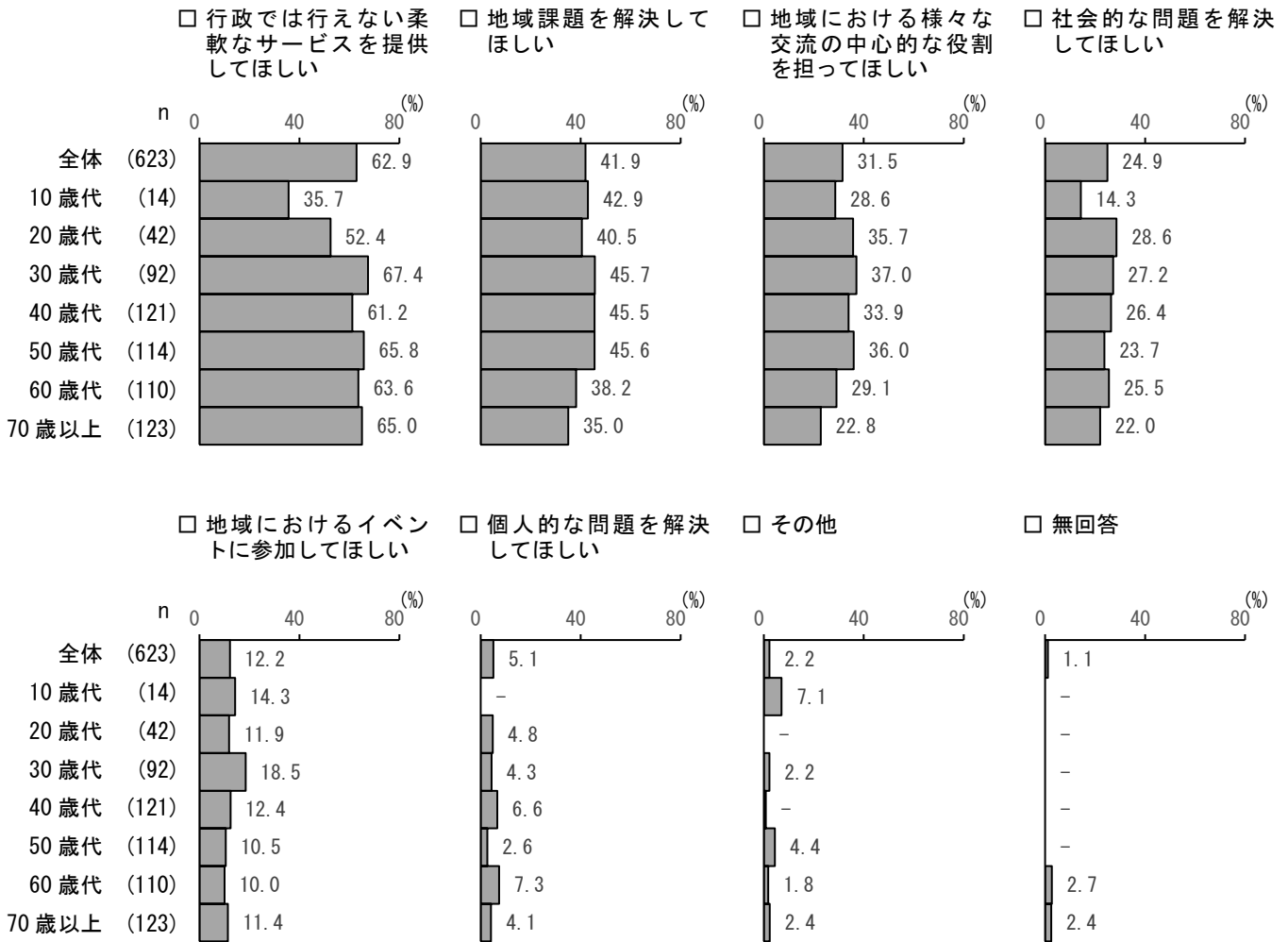
問3-6 あなたが市民活動団体に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【図表4-3：市民活動団体に期待することの内容】



市民活動団体に期待することの内容については、「行政では行えない柔軟なサービスを提供してほしい」が62.9%と最も高く、次いで、「地域課題を解決してほしい」(41.9%)、「地域における様々な交流の中心的な役割を担ってほしい」(31.5%)の順となっている。

【図表4-4：年齢別／市民活動団体に期待することの内容】

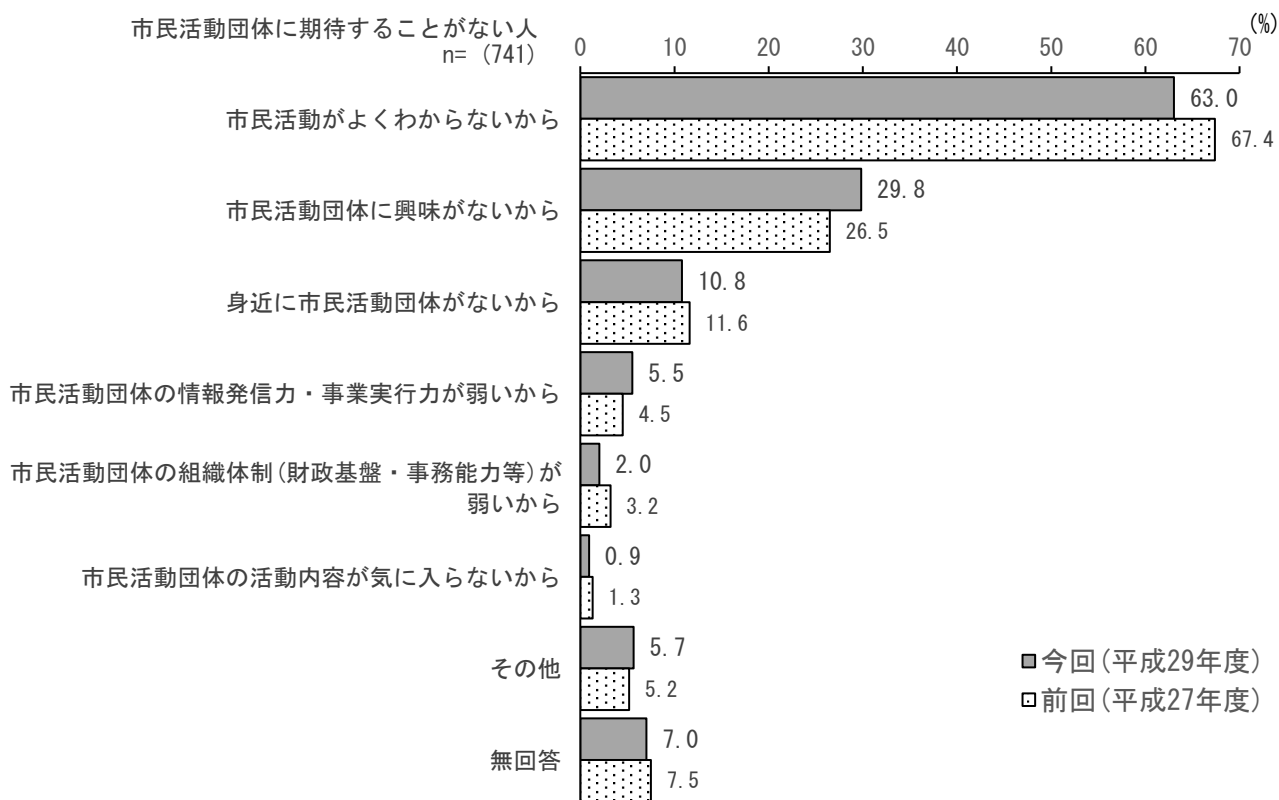


「行政では行えない柔軟なサービスを提供してほしい」を年齢別で見ると、30歳代以上はいずれも6割を超えている。「地域課題を解決してほしい」では、30～50歳代が他の年代に比べやや高く、5割弱でほぼ同じ割合となっている。

(7) 市民活動団体に期待することがない理由

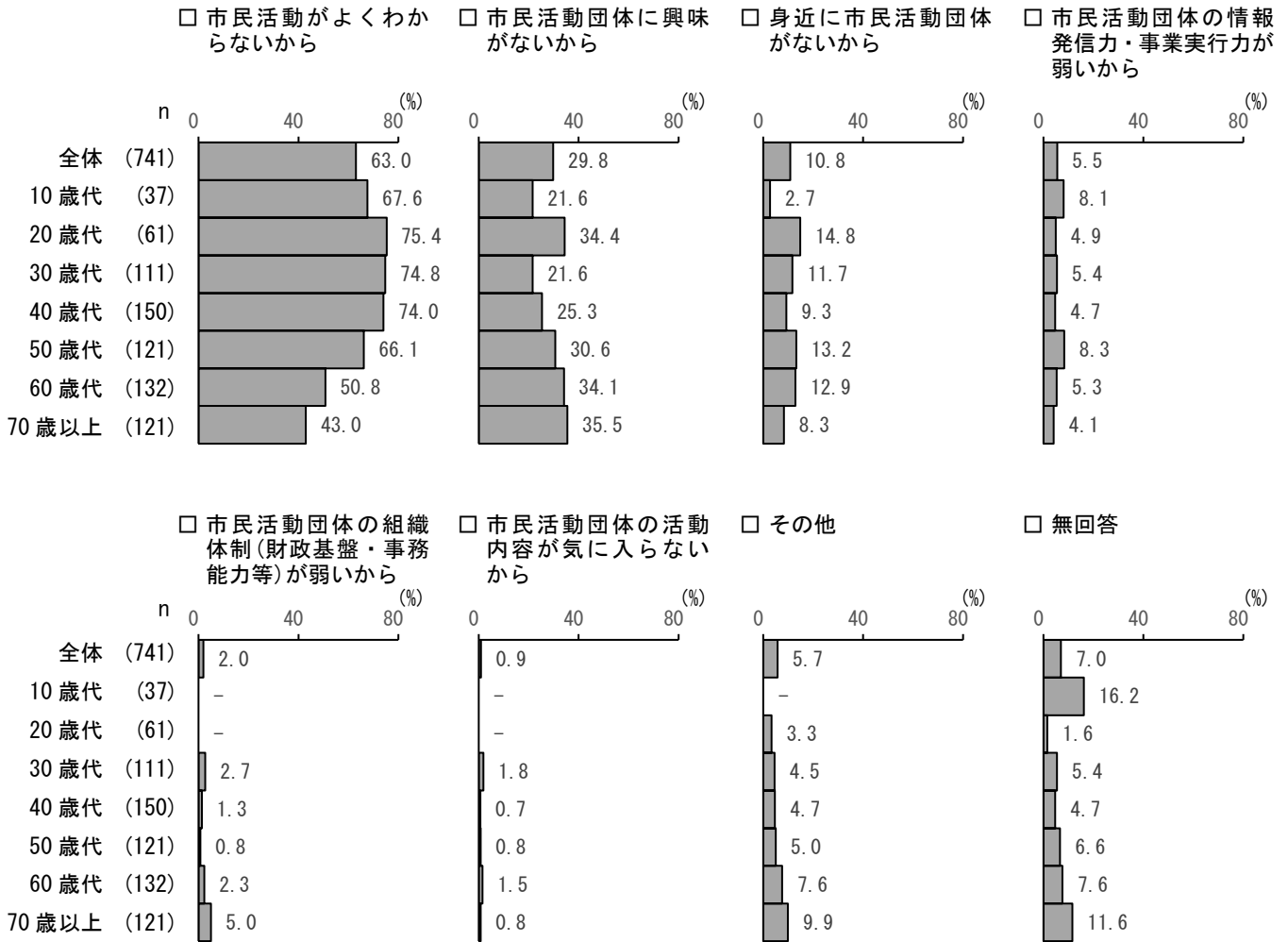
【問3-5で「2. いいえ」に○をつけた方にお聞きします】
 問3-7 あなたが市民活動団体に期待することがないのはなぜですか。
 (あてはまるものすべてに○)

【図表45：市民活動団体に期待することがない理由】



市民活動団体に期待することがない理由については、「市民活動がよくわからないから」が63.0%と最も高く、次いで、「市民活動団体に興味がないから」(29.8%)、「身近に市民活動団体がないから」(10.8%)の順となっている。

【図表4-6：年齢別／市民活動団体に期待することがない理由】

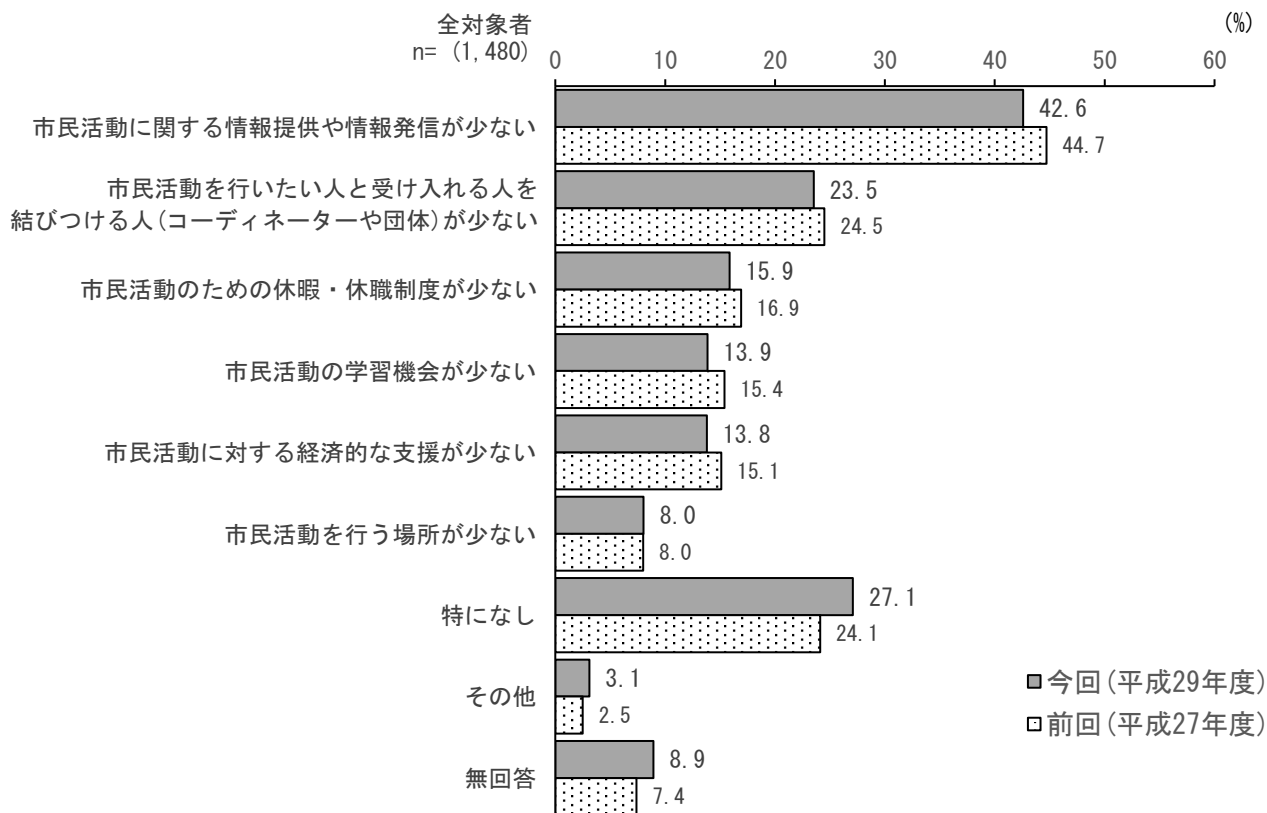


「市民活動がよくわからないから」を年齢別で見ると、20～40歳代が7割を超えて高くなっている。「市民活動団体に興味がないから」では、20歳代と50歳代以上が3割を超えている。

(8) 市民活動団体が活動するときに妨げになると思うこと

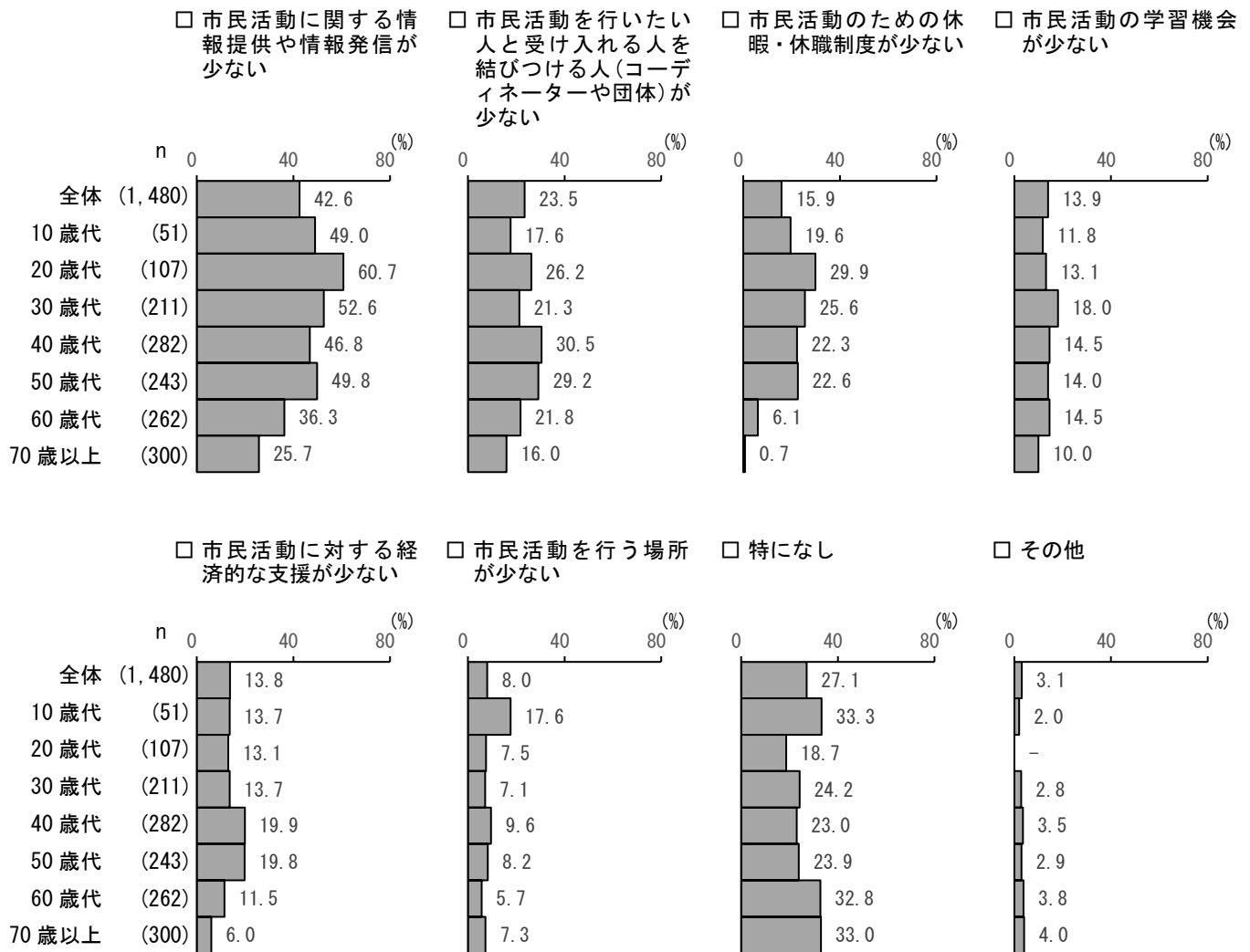
問3-8 市民活動団体が活動するときに、妨げになると思うことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

【図表47：市民活動団体が活動するときに妨げになると思うこと】



市民活動団体が活動するときに妨げになると思うことについては、「市民活動に関する情報提供や情報発信が少ない」が42.6%と最も高く、次いで、「市民活動を行いたい人と受け入れる人を結びつける人(コーディネーターや団体)が少ない」(23.5%)、「市民活動のための休暇・休職制度が少ない」(15.9%)の順となっている。

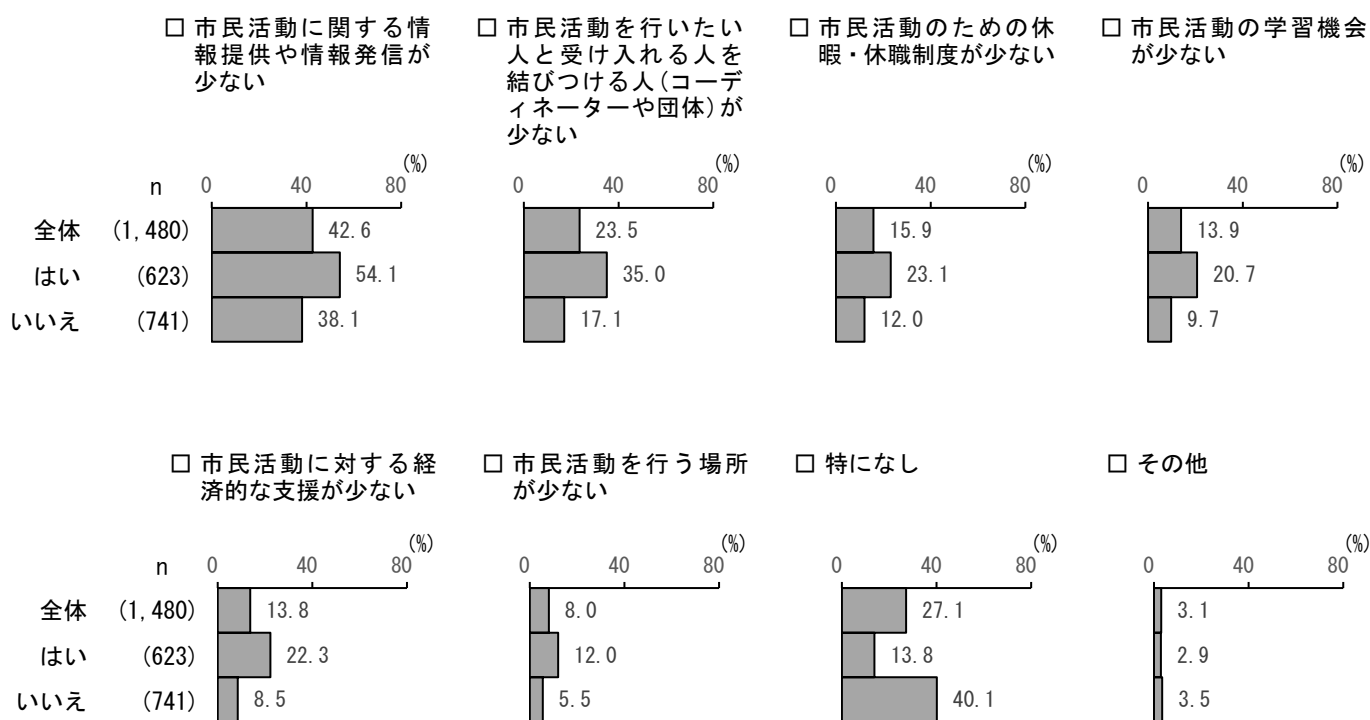
【図表48：年齢別／市民活動団体が活動するときの妨げになると思うこと】上位8項目



「市民活動に関する情報提供や情報発信が少ない」を年齢別で見ると、20歳代が60.7%と最も高く、次いで、10歳代および30～50歳代が5割前後となっている。「市民活動を行いたい人と受け入れる人を結びつける人(コーディネーターや団体)が少ない」は、40歳代および50歳代が3割程度、「市民活動のための休暇・休職制度が少ない」では、20～50歳代が2割を超えて、他の年代に比べ高くなっている。

【図表4-9：市民活動団体に期待することの有無別／市民活動団体が活動するときに妨げになると思うこと】

上位8項目

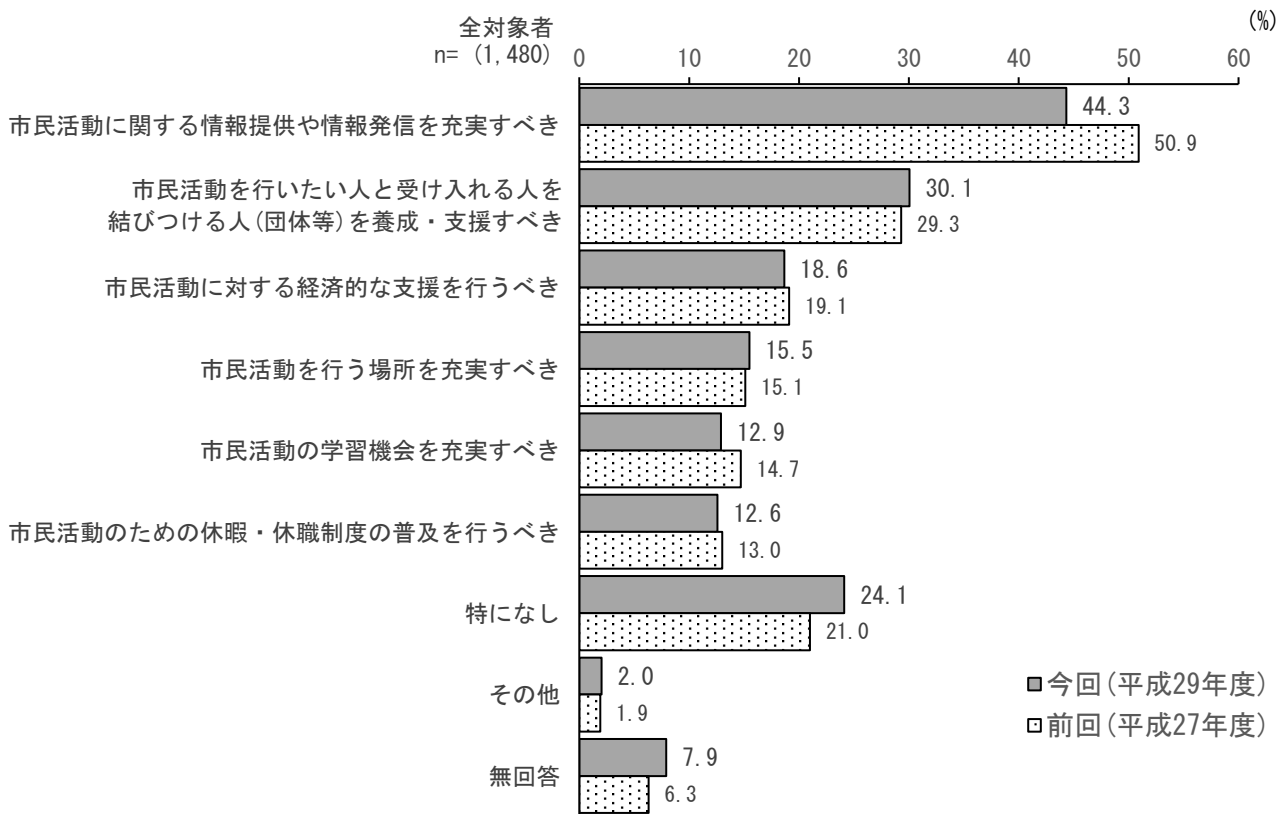


「市民活動に関する情報提供や情報発信が少ない」を市民活動に期待することの有無(「はい」/「いいえ」)別にみると、「はい」54.1%、「いいえ」38.1%で、「はい」の方が「いいえ」より16.0ポイント高くなっている。「市民活動を行いたい人と受け入れる人を結びつける人(コーディネーターや団体)が少ない」は、「はい」35.0%、「いいえ」17.1%で、「はい」の方が「いいえ」より17.9ポイント高くなっている。

(9) 市民活動について市に望むこと

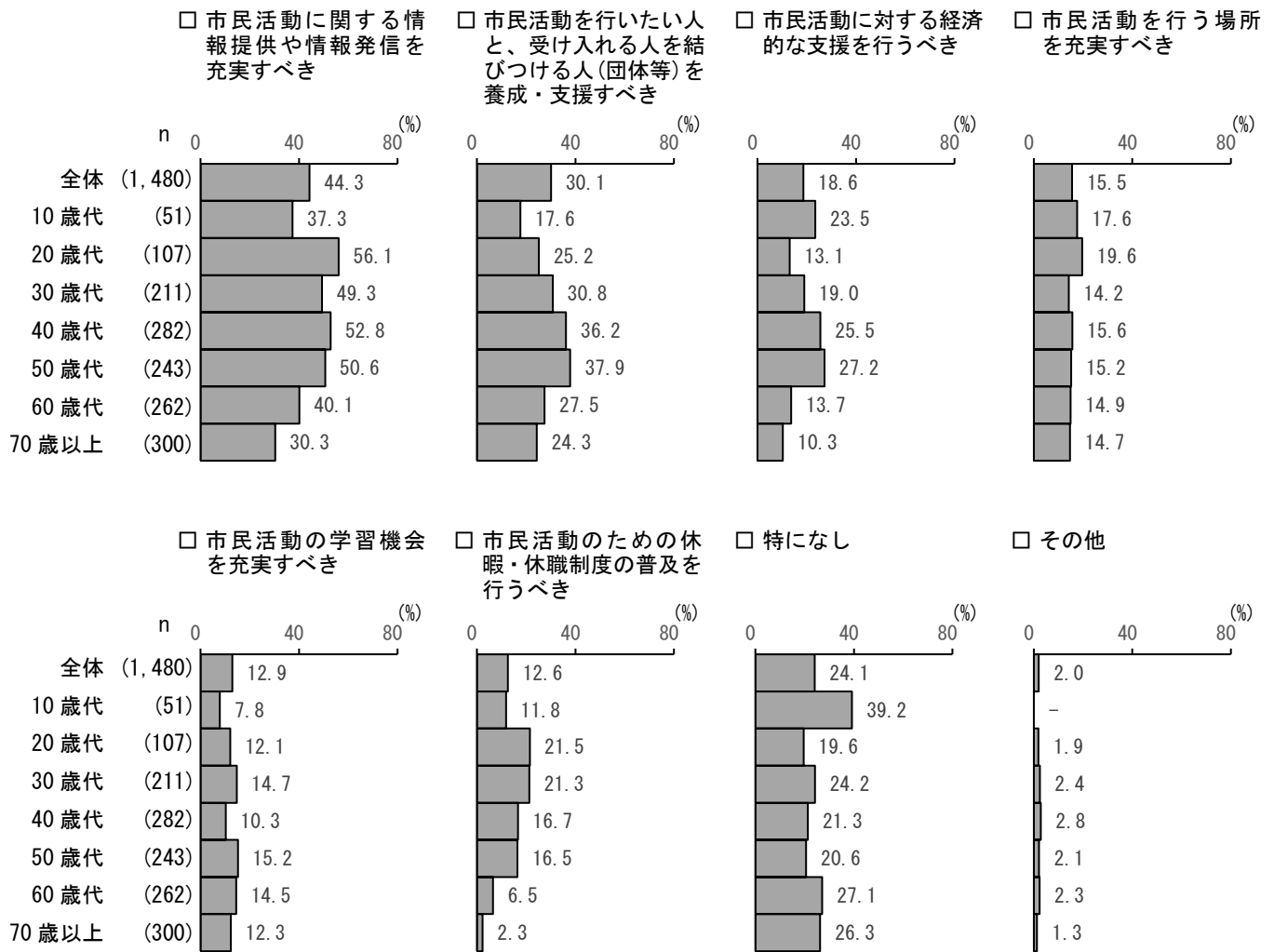
問3-9 市民活動について、市にどのようなことを望みますか。
(あてはまるものすべてに○)

【図表50：市民活動について市に望むこと】



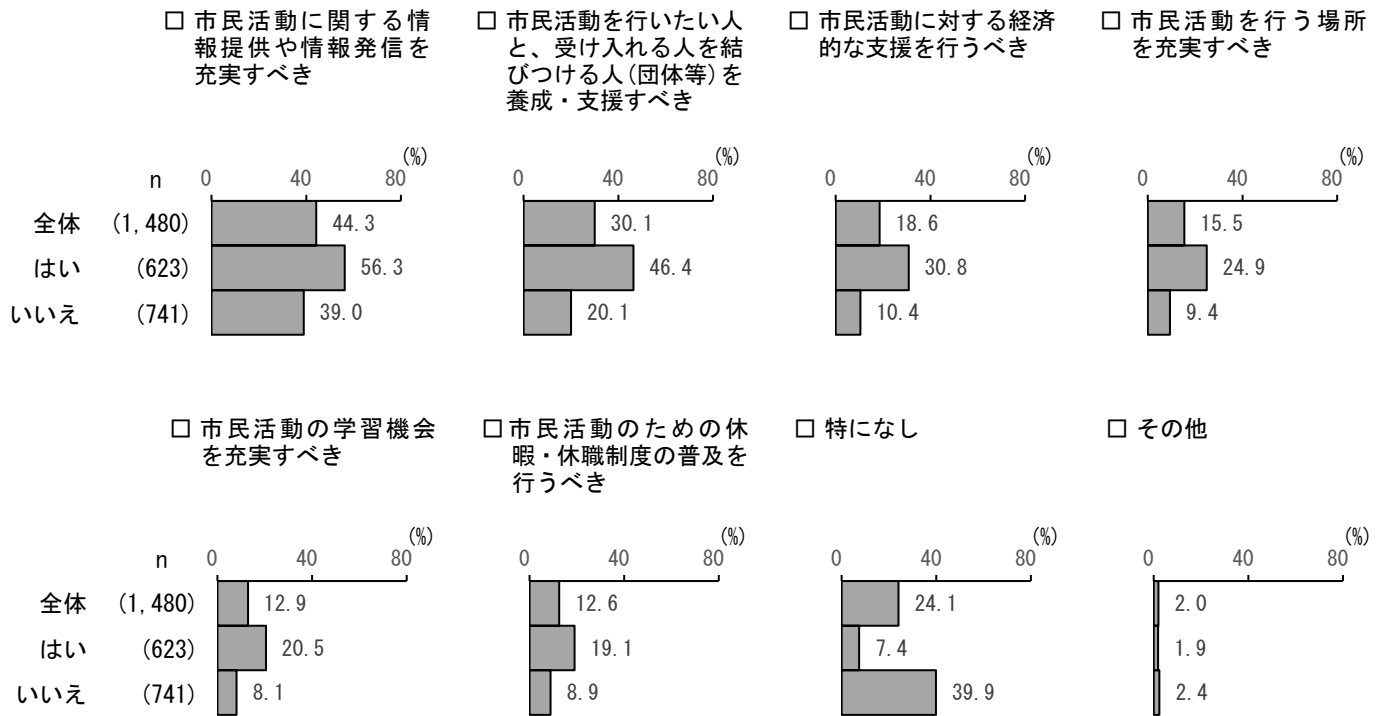
市民活動について市に望むことについては、「市民活動に関する情報提供や情報発信を充実すべき」が44.3%と最も高いが、前回調査（平成27年度）の50.9%より割合は減っている。次いで、「市民活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき」(30.1%)、「市民活動に対する経済的な支援を行うべき」(18.6%)の順となっている。

【図表5-1：年齢別／市民活動について市に望むこと】上位8項目



「市民活動に関する情報提供や情報発信を充実すべき」を年齢別で見ると、20歳代が56.1%と最も高く、次いで、30～50歳代が5割前後となっている。「市民活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき」は、40歳代および50歳代が4割弱と高く、「市民活動に対する経済的な支援を行うべき」においても、40～50歳代が他の年代に比べ高くなっている。

【図表5 2：市民活動団体に期待することの有無別／市民活動について市に望むこと】上位8項目



「市民活動に関する情報提供や情報発信を充実すべき」を市民活動に期待することの有無(「はい」/「いいえ」)別にみると、「はい」56.3%、「いいえ」39.0%で、「はい」の方が「いいえ」より17.3ポイント高くなっている。「市民活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき」は、「はい」46.4%、「いいえ」20.1%で、「はい」の方が「いいえ」より26.3ポイント高くなっている。